

HYOGO PREFECTURE

インフラの ストック効果 事例集

2026



-4月 21事例収録

ストック効果 事業一覧表

	事業名	種別				
		道路	河川	砂防	港湾	下水道
①	北近畿豊岡自動車道	●				
②	山陰近畿自動車道	●				
③	東播磨道	●				
④	県道 三田西インター線	●				
⑤	都市計画道路 沖浜平津線	●				
⑥	大阪湾岸道路西伸部	●				
⑦	名神湾岸連絡線	●				
⑧	神戸西バイパス (E94第二神明道路)	●				
⑨	東播丹波連絡道路	●				
⑩	大鳴門橋自転車道	●				
⑪	引原ダム再生事業		●			
⑫	加古川水系 激甚災害対策特別緊急事業		●			
⑬	千種川 床上浸水対策特別緊急事業		●			
⑭	佐用川 災害復旧助成事業		●			
⑮	杉原川 大規模特定河川事業		●			
⑯	新川水門 新川・東川統合排水機場整備事業		●			
⑰	尼崎閘門・東浜排水機場 老朽化対策事業				●	
⑱	国際物流ターミナル整備事業 (姫路港広畑地区)				●	
⑲	味噌谷川砂防堰堤			●		
⑳	兵庫東流域下水汚泥広域処理場 (汚泥処理施設改築)					●
㉑	加古川下流浄化センターでの取組					●

北近畿豊岡自動車道

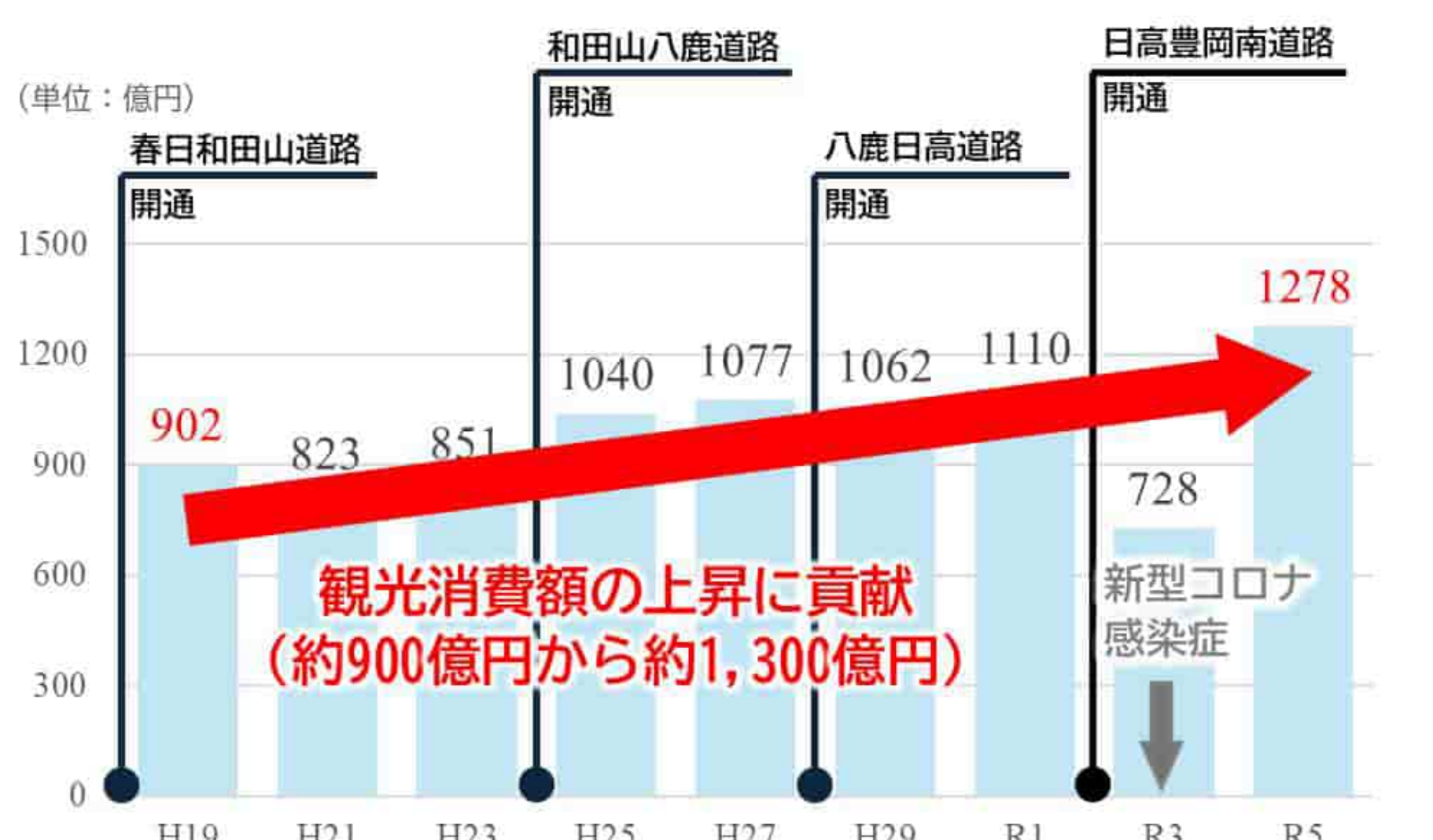


日高豊岡南道路

救急医療活動の支援、企業進出への貢献、
観光の活性化等を目的とする高規格道路



■但馬地域の観光消費額の推移



出典: 兵庫県観光客動態調査報告書

■但馬地域の主要な観光地

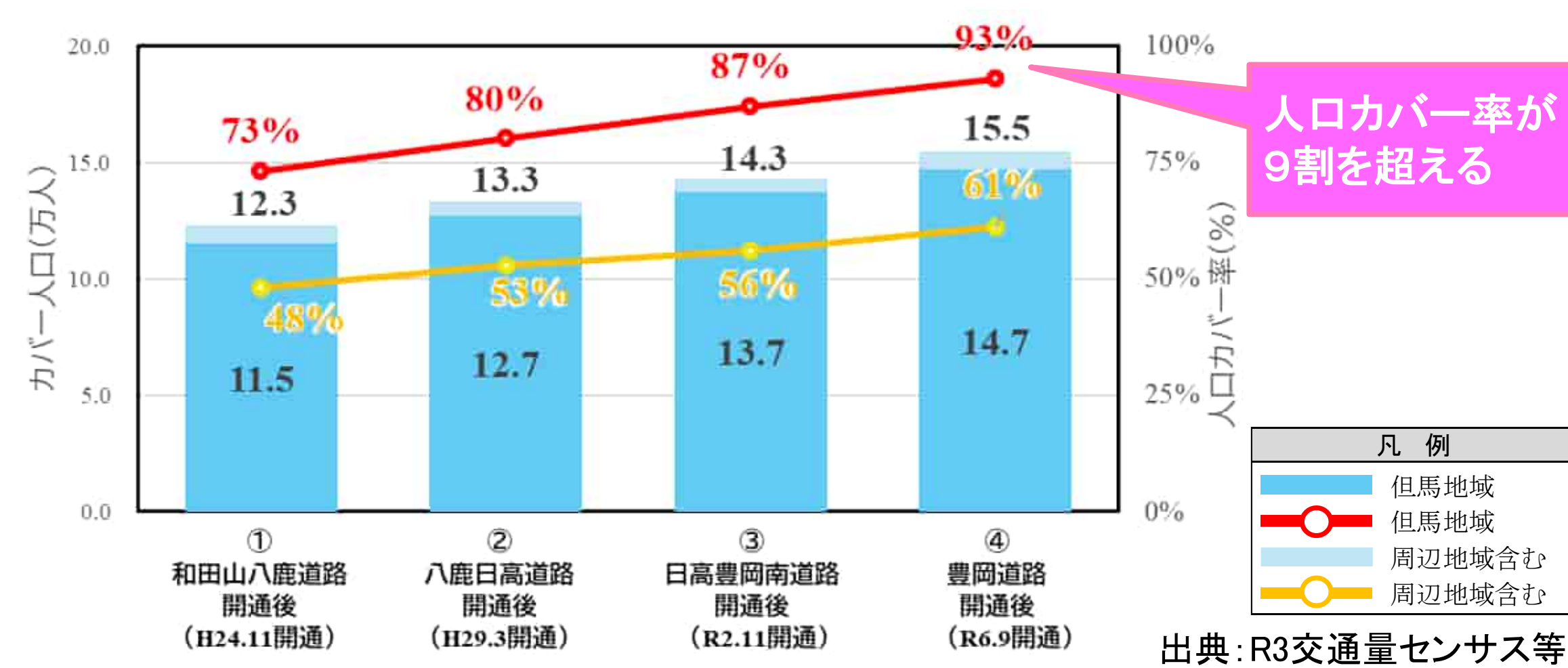


■但馬地域の新規立地企業数(累積)



出典: 工場立地動向調査 (H17-R6)

■但馬地域のドクターカー30分圏域カバー人口推移



人口カバー率が9割を超える

■地域の声



『高規格道路による来訪客増に期待！』
高規格道路がつながることで、関西圏のみならず、遠方からの来訪が増えることを期待している。



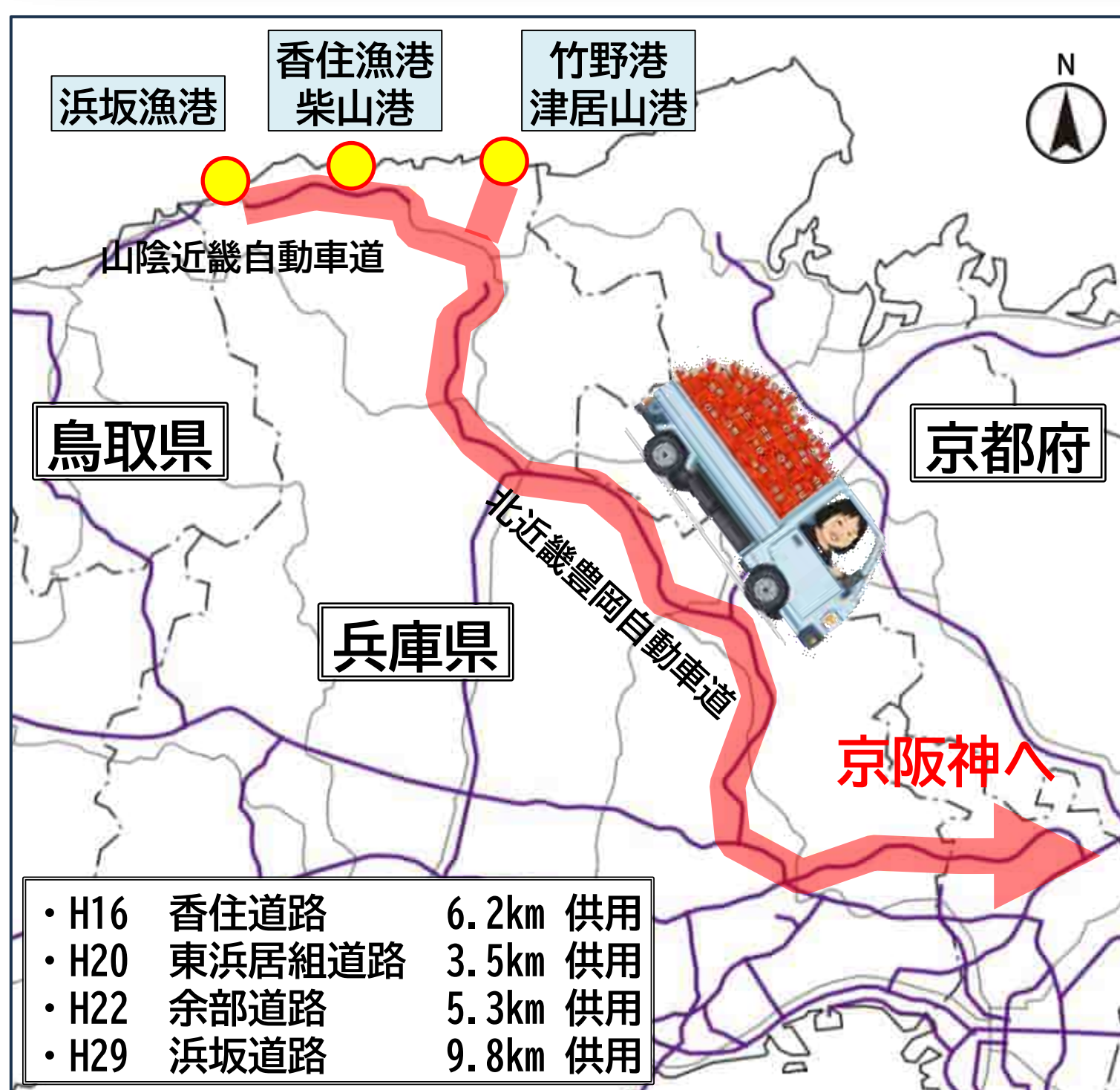
『日本海側の観光地連携にも期待！』
高規格道路が完成したら、鳥取砂丘や天橋立など日本海側の観光地連携にも弾みがつくと期待している。

山陰近畿自動車道

浜坂道路

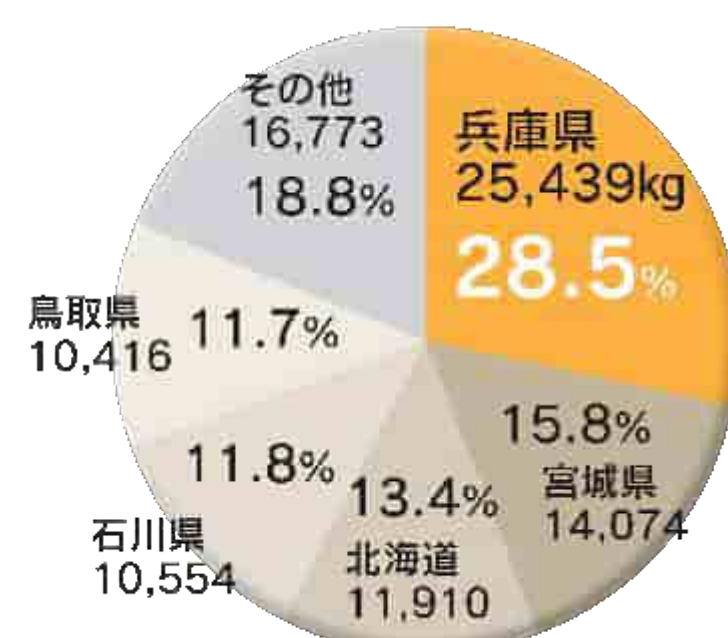


着々と供用、日本海側の自動車専用道路
物流・交流が促進され、地域活性化に寄与

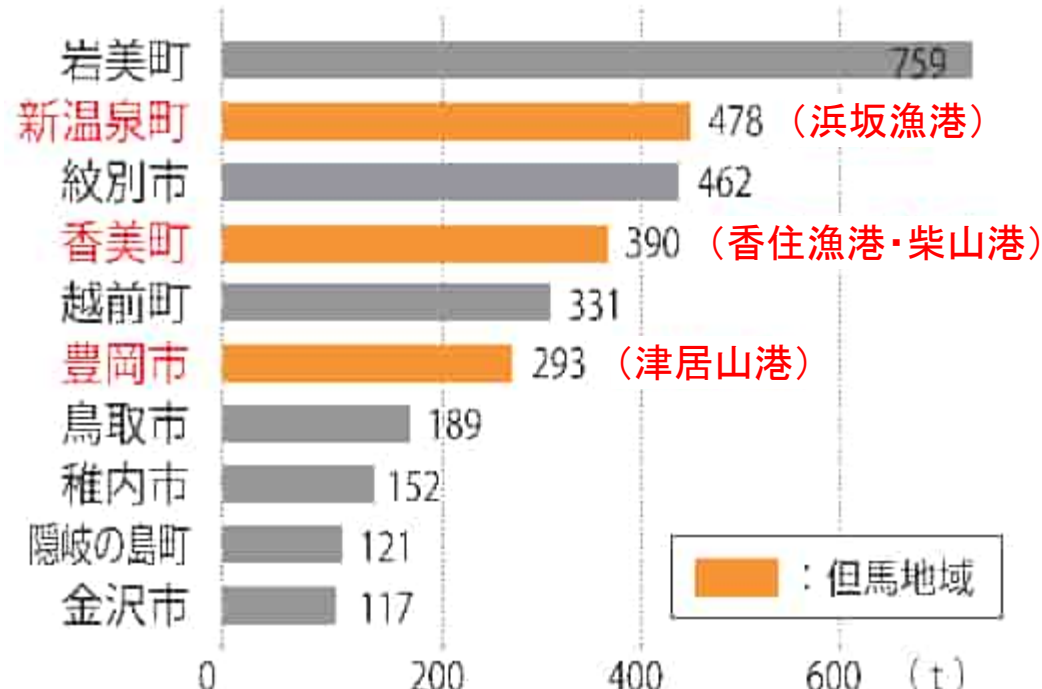


■物流の迅速化により新鮮な食材の提供

◆大阪府中央卸売市場における国内のカニ取扱量



◆ズワイガニの漁獲量上位10市町村



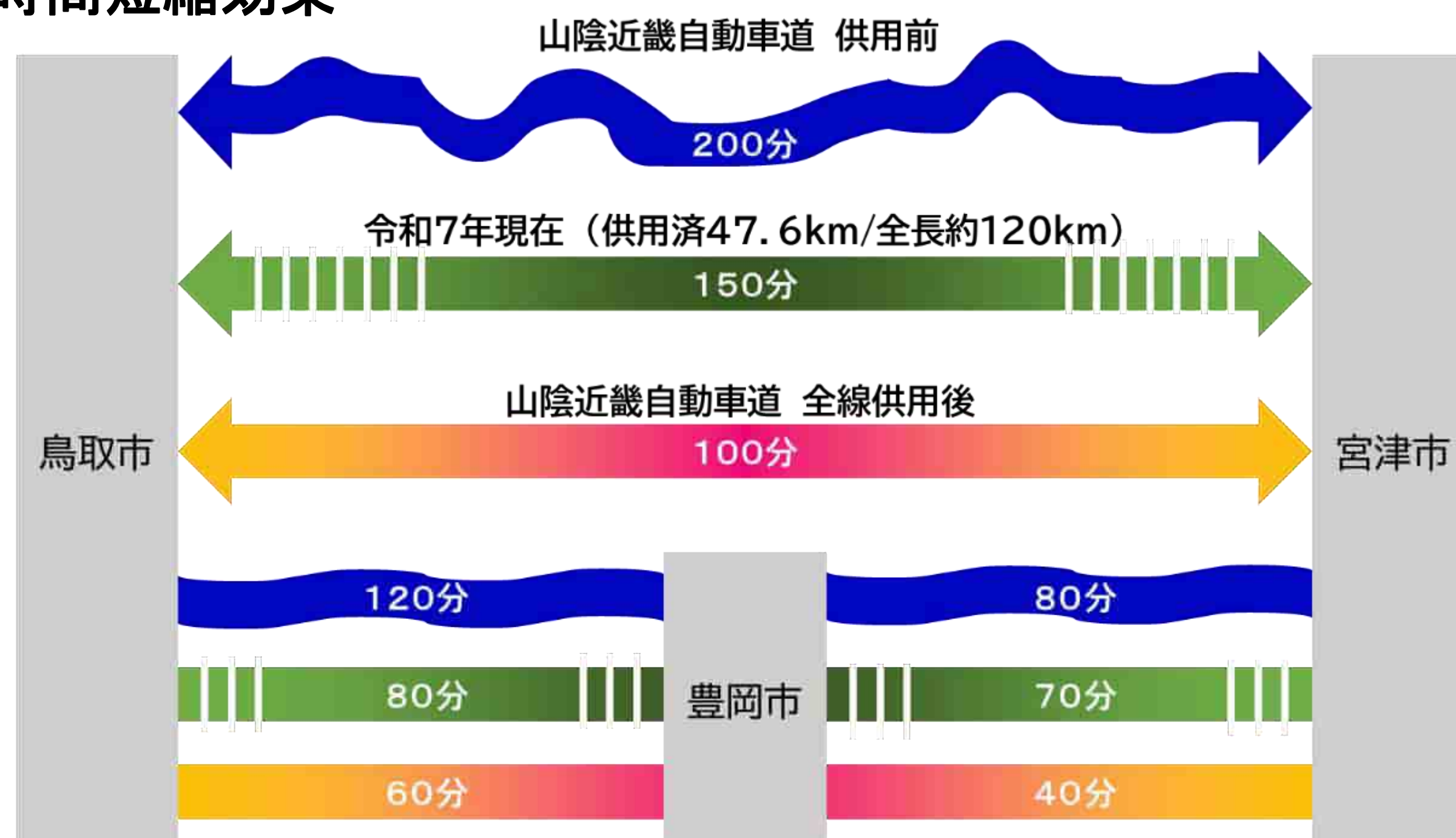
・ズワイガニをはじめ、但馬地域を代表する生鮮食品の京阪神方面への輸送時間が短縮され、鮮度保持・品質向上が期待できる。

■地域間の交流拡大

- ・1市6町(鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町・香美町・新温泉町)で図書館の「相互利用」に関する協定を締結。
- ・岩美町民、香美町民が新温泉町立図書館から借りた冊数は約4倍に増加。



■時間短縮効果



■地域の声



『地域の活性化に期待！』

北近畿豊岡自動車と合わせて、山陰近畿自動車道の更なる整備により、物流が効率化され、地域経済の活性化に期待している。

東播磨道 ~令和7年11月30日全線開通~

国道175号



地域の連携を強化する自動車専用道路 移動時間短縮、周辺道路の渋滞解消に寄与



■移動時間の短縮



■地域の声



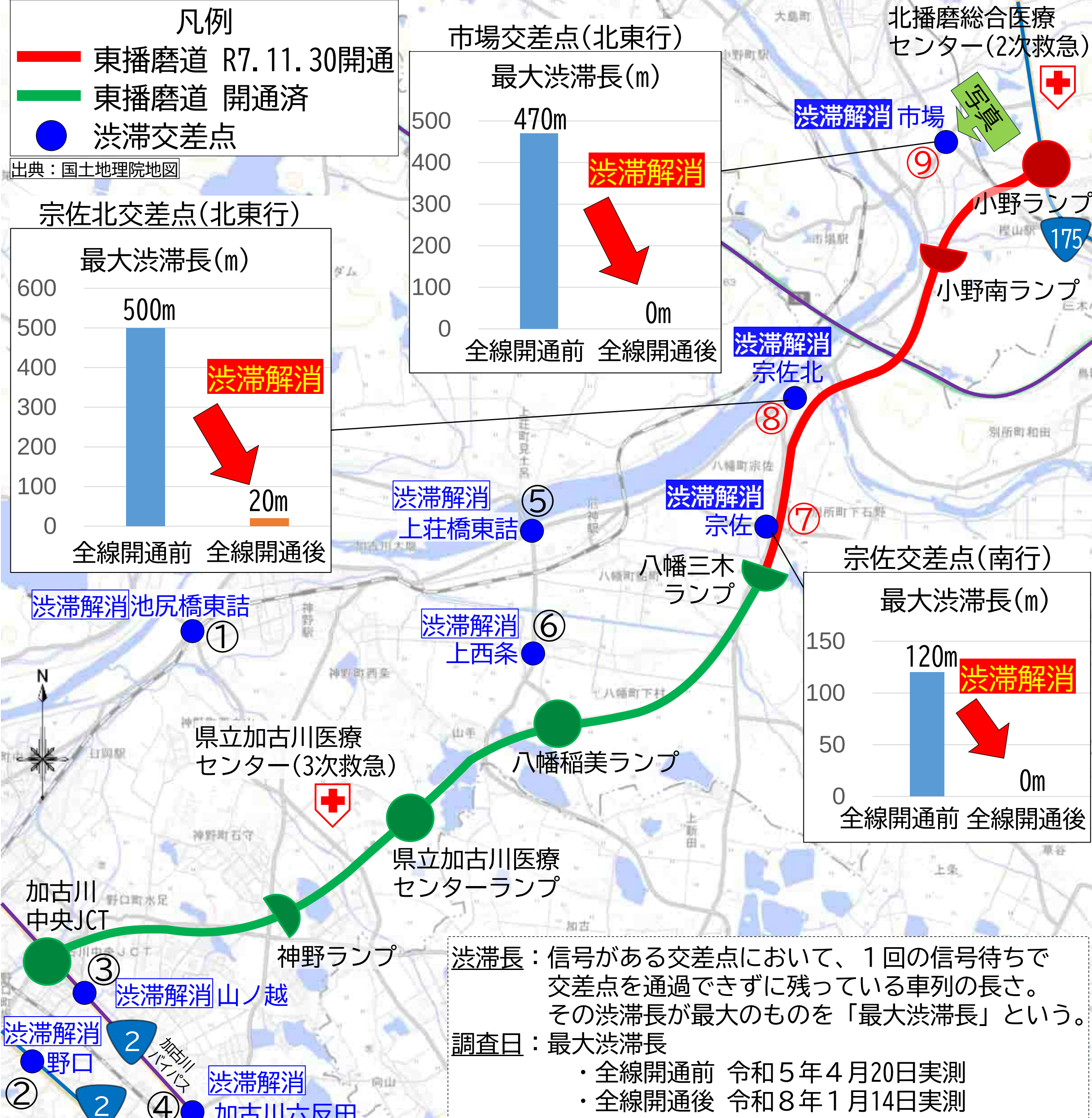
- ・通勤で利用しています。加古川市内から小野市の国道175号まで30分程かかっていましたが、全線開通後は15分程で着くようになり便利になりました。
- ・交差点がないため安全・快適に走行できています。

■小野市消防本部の声



- ・東播磨道を利用することで安静迅速な搬送が可能となり、傷病者の負担が減りました。
- ・病院へ傷病者を搬送した後、消防署へ戻る時間が3～5分短縮されたため、次の出動への備えが強化されました。

■9箇所の交差点で渋滞が解消



市場交差点での渋滞解消状況



県道 三田西インター線

～令和7年12月13日開通～



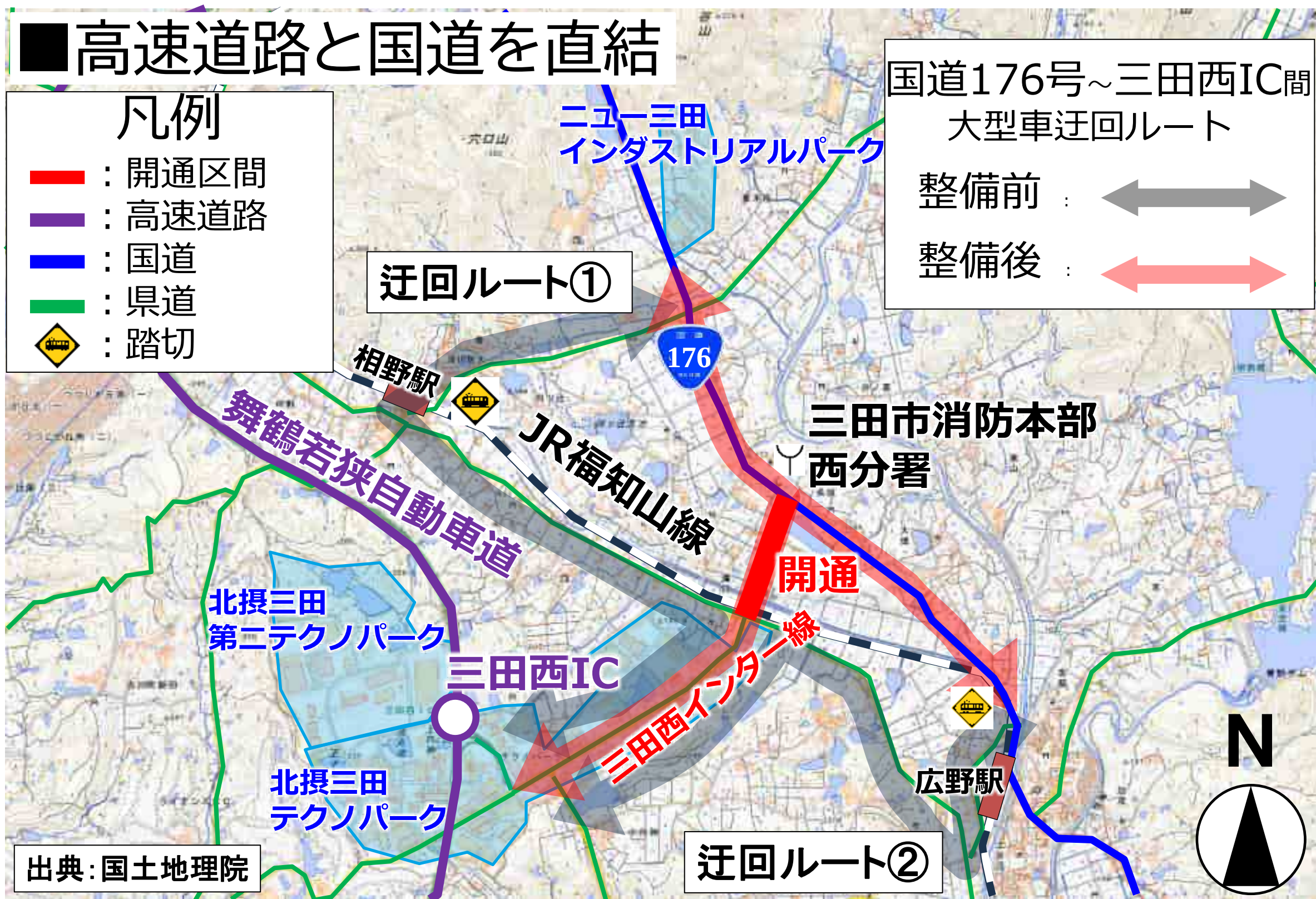
高速道路と国道を直結し迂回を解消
JRとは立体交差により円滑な交通を確保



■高速道路と国道を直結

凡例

- ：開通区間
- ：高速道路
- ：国道
- ：県道
- ：踏切



■大型車の迂回を解消

迂回ルート①



迂回ルート②



大型車も
安全に通行可能



■安全で円滑な交通の確保

JR交差部は立体交差になり
安全で円滑な交通を確保



緊急車両の現場到着時間の
短縮効果も期待！！



■地元住民の声



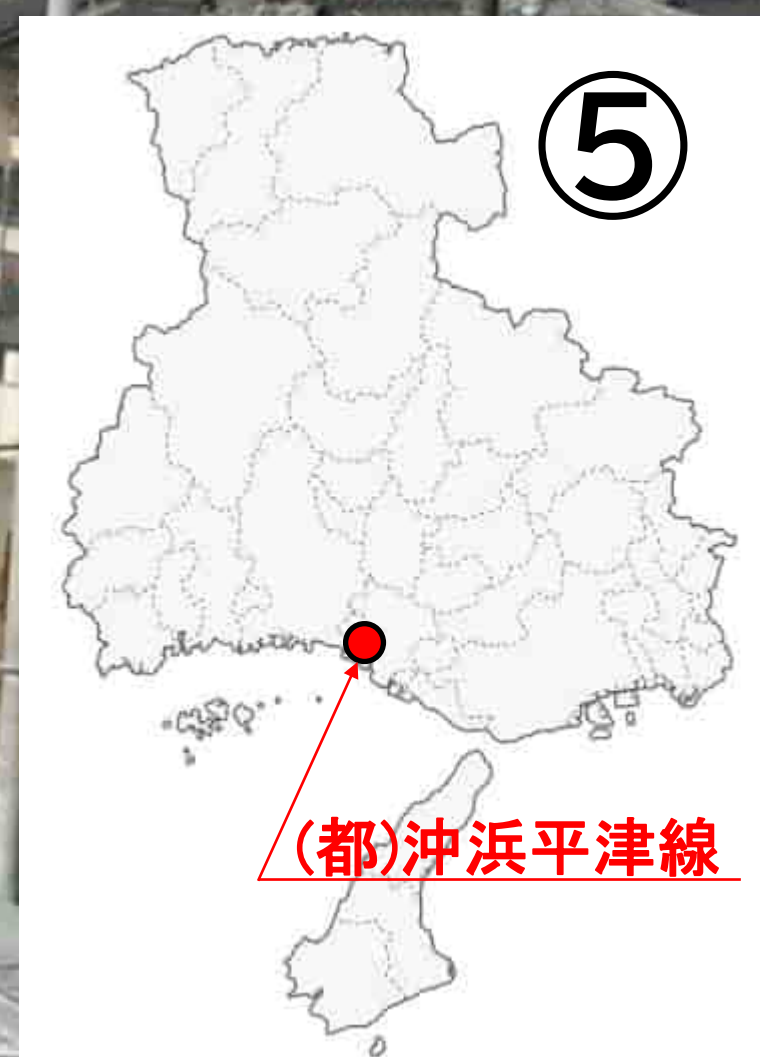
- ・迂回路として利用されていた道路の交通量が減り、安全になりました。
- ・新三田駅からテクノパークへの通勤時間が約5分短くなりました。

■三田市消防本部 西分署の声



- ・踏切を回避し、踏切待ちを回避することで現場への到着時間が短縮したと感じています。
- ・三田西インター線のバイパスは安全に走行できると感じています。

都市計画道路 沖浜平津線



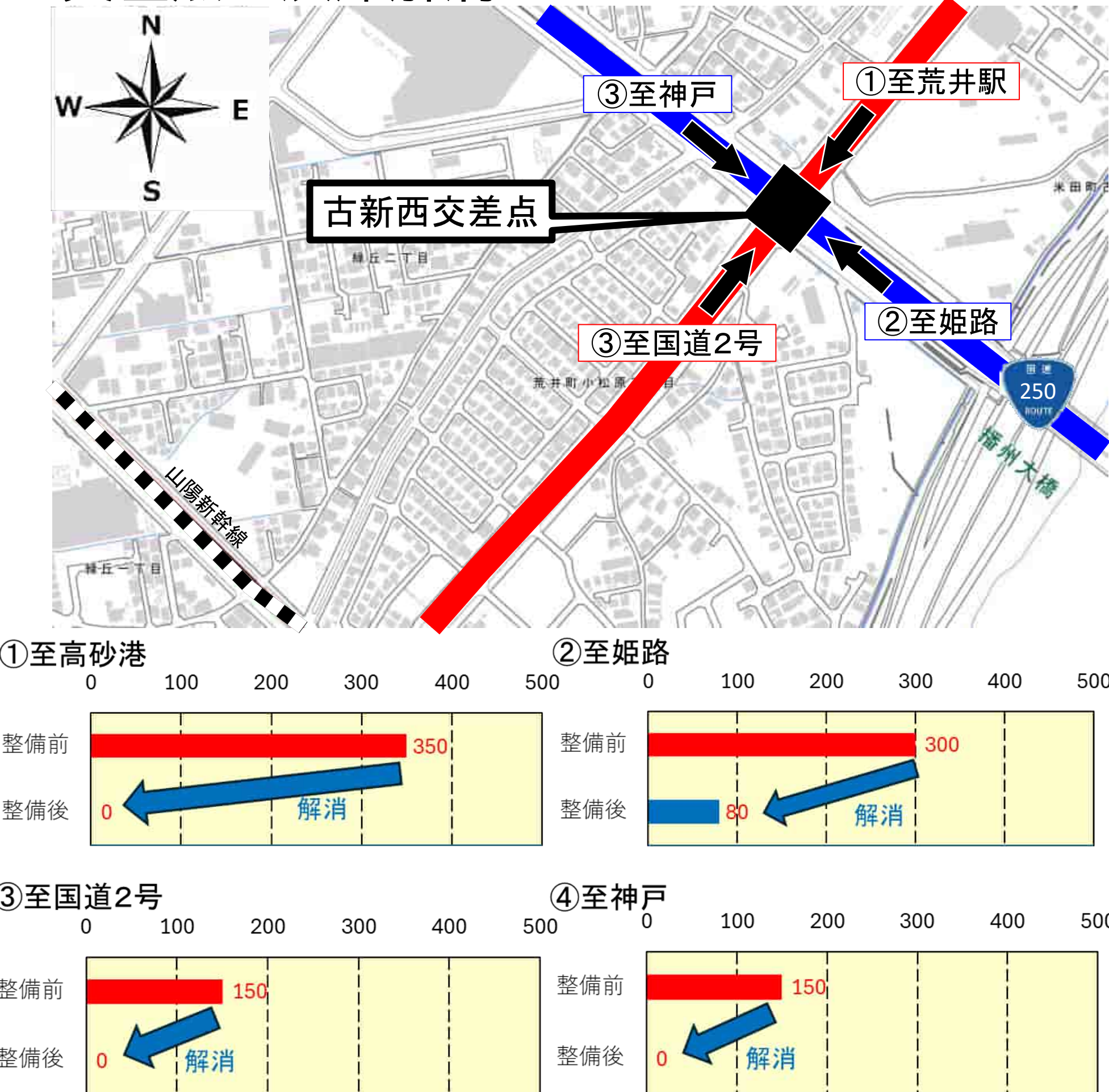
地域交通の安心・安全への貢献 渋滞長の大幅削減と交通事故削減



臨海部とのアクセス向上

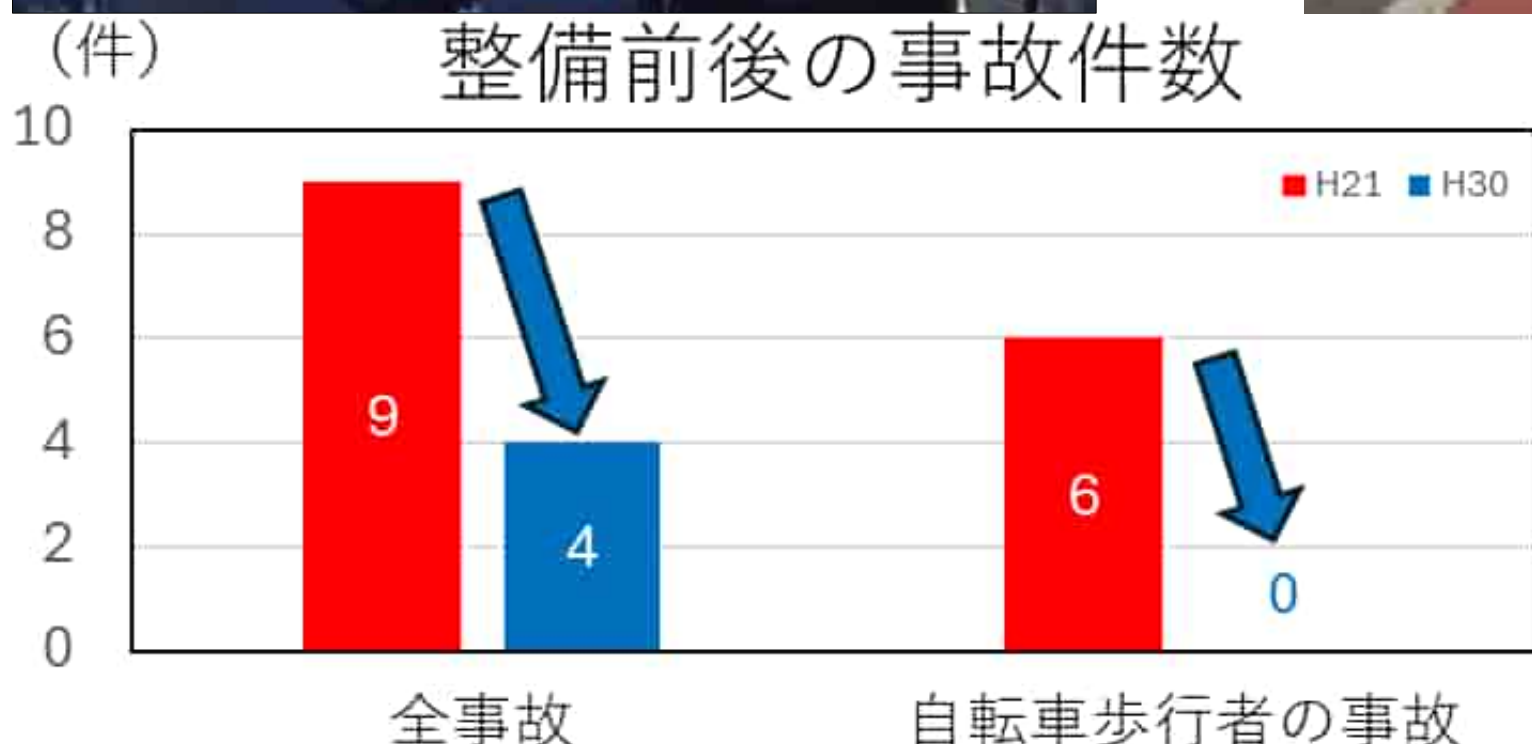


交差点の渋滞解消



自転車道・歩道の整備に安全性が向上

3.0mの自転車道
2.0mの歩道を整備



バス事業者の声



『慢性的な渋滞が解消！』
道路整備により運行時間が短縮し、予定どおりに到着できるようになりました。

地域の声



『安全性が向上！』
車道は広く、歩道がしっかり区別されているので、安全性が向上し、ストレスなく走行できるようになりました。

六甲山

大阪湾岸道路西伸部

六甲アイランド

ポートアイランド

事業中区間 L=14.5km

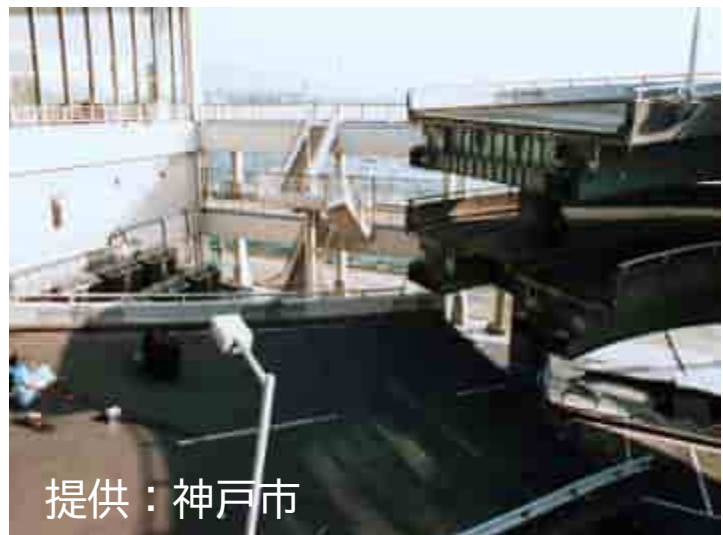
大阪湾岸道路西伸部

大阪湾ベイエリアの物流・人流の効率化 災害時及び通行規制時の交通確保



災害時の交通確保

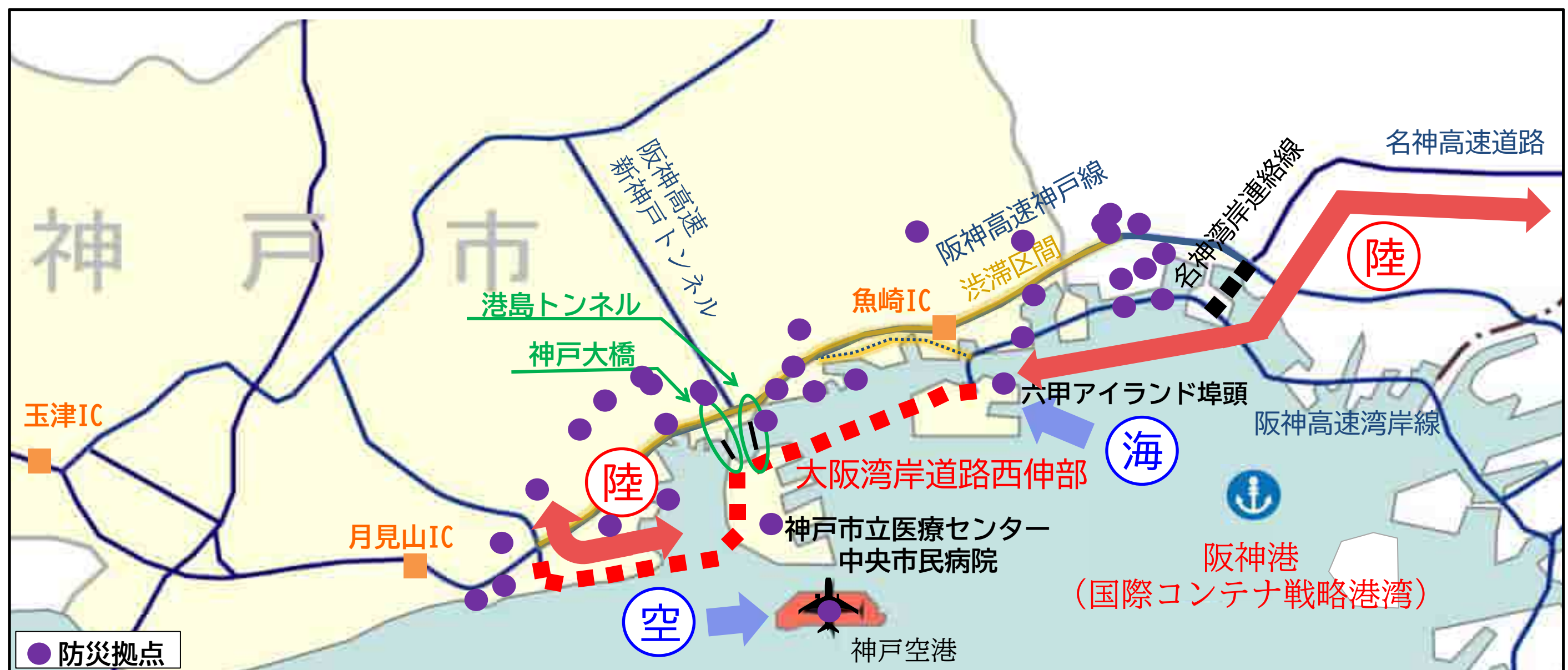
近年、自然災害の甚大化・頻発化により、高潮や津波による浸水被害リスクが増大している。



提供：神戸市
平成7年阪神・淡路大震災
〈神戸大橋ランプ部の落橋〉



提供：国土交通省近畿地方整備局
平成30年台風21号
〈港島トンネルの浸水〉

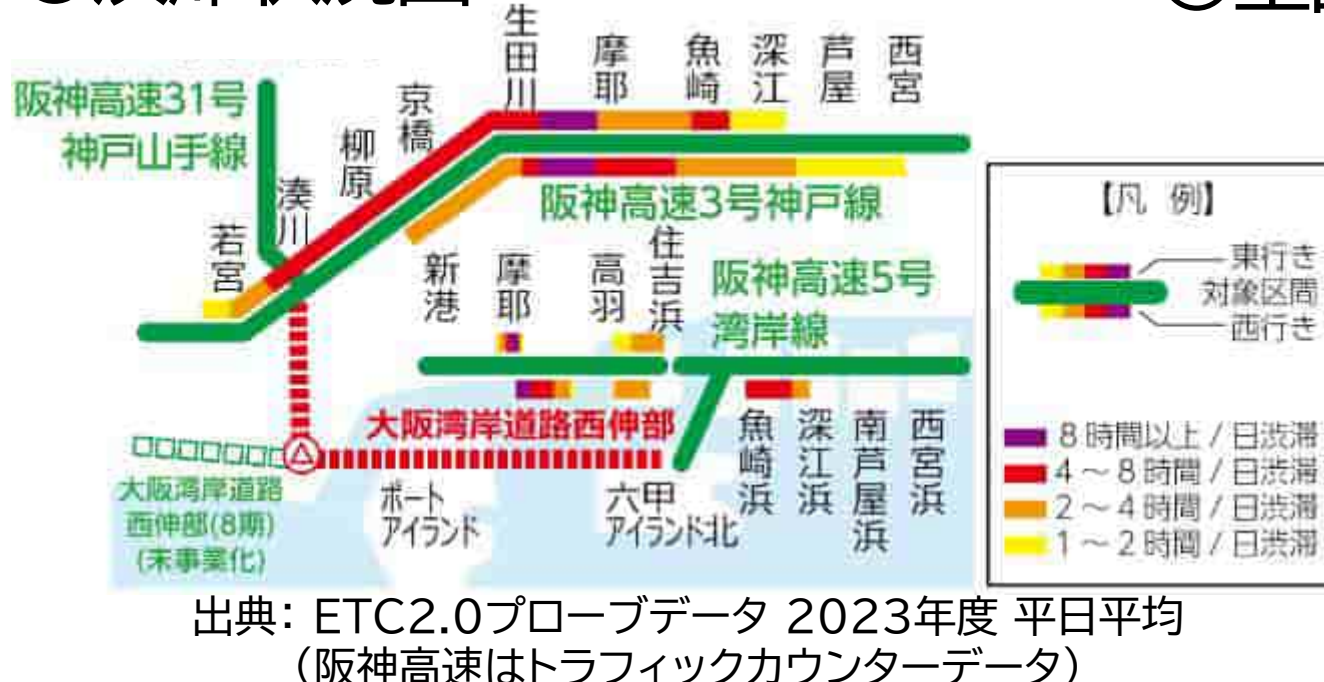


道路整備によりリダンダンシーが確保され、陸海空の防災拠点が機能を発揮

物流・人流の効率化

全国ワースト1位、2位

〇渋滞状況図



出典：ETC2.0プローブデータ 2023年度 平日平均
(阪神高速はトラフィックカウンターデータ)

〇全国都市道路の渋滞損失

順位	路線名	渋滞損失時間 (万人・時間/年)
1	阪神高速3号神戸線 (下り) 西宮JCT～第二神明接続部	292
2	阪神高速3号神戸線 (上り) 第二神明接続部～西宮JCT	253
3	首都高速湾岸線 (西行) 東関道接続部～葛西JCT	168
4	阪神高速13号東大阪線 (上り) 東大阪JCT～東船場JCT	159
5	首都高速5号池袋線 (上り) 美女木JCT～板橋JCT	154

出展：R2.6.8国土交通省公表資料
※JCT区間別の渋滞ランキング(年間合計)

〇整備前後の神戸以西（玉津IC）から大阪港への所要時間

〈最長所要時間の変化〉



〈所用時間のばらつきの変化〉



出展：国土交通省調べETC2.0プローブデータ（2023年11月平日昼間12時間）より算定

交通転換により阪神港等の物流拠点への定時性確保が可能

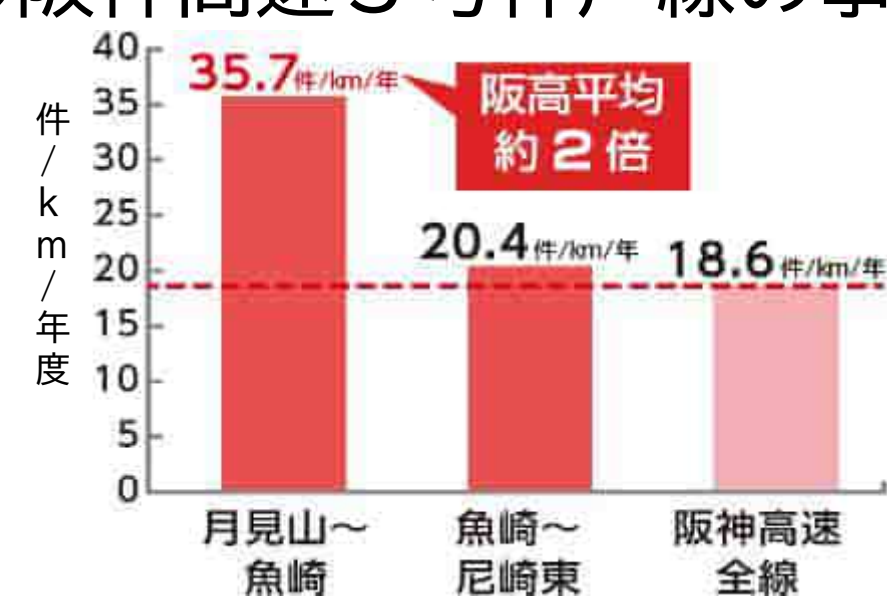
代替路の確保

〇高速道路の更新事業対象箇所



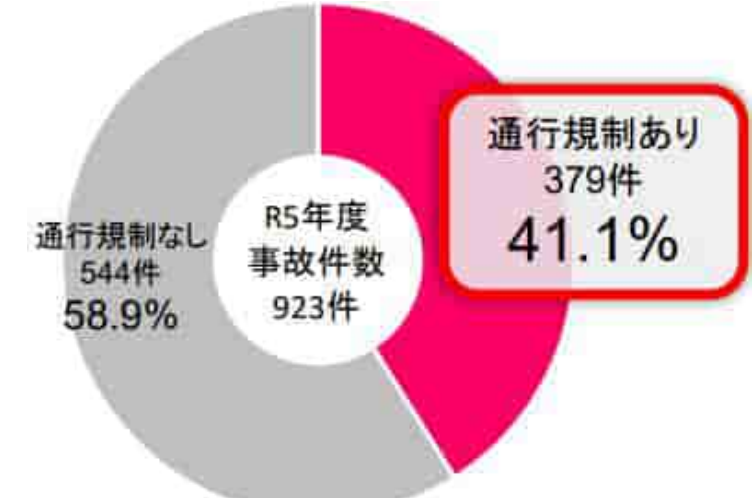
3号神戸線は建設から50年以上が経過しており、長寿命化に向けた更新事業を随時実施

〇阪神高速3号神戸線の事故件数



出典：阪神高速道路株式会社（2023年事故データ）
※兵庫県域・本線部とランプ部の事故件数 ※通行規制には路肩規制を含む

〈事故発生時の通行規制の有無〉



更新事業や事故による通行規制時の代替路として機能

名神湾岸連絡線

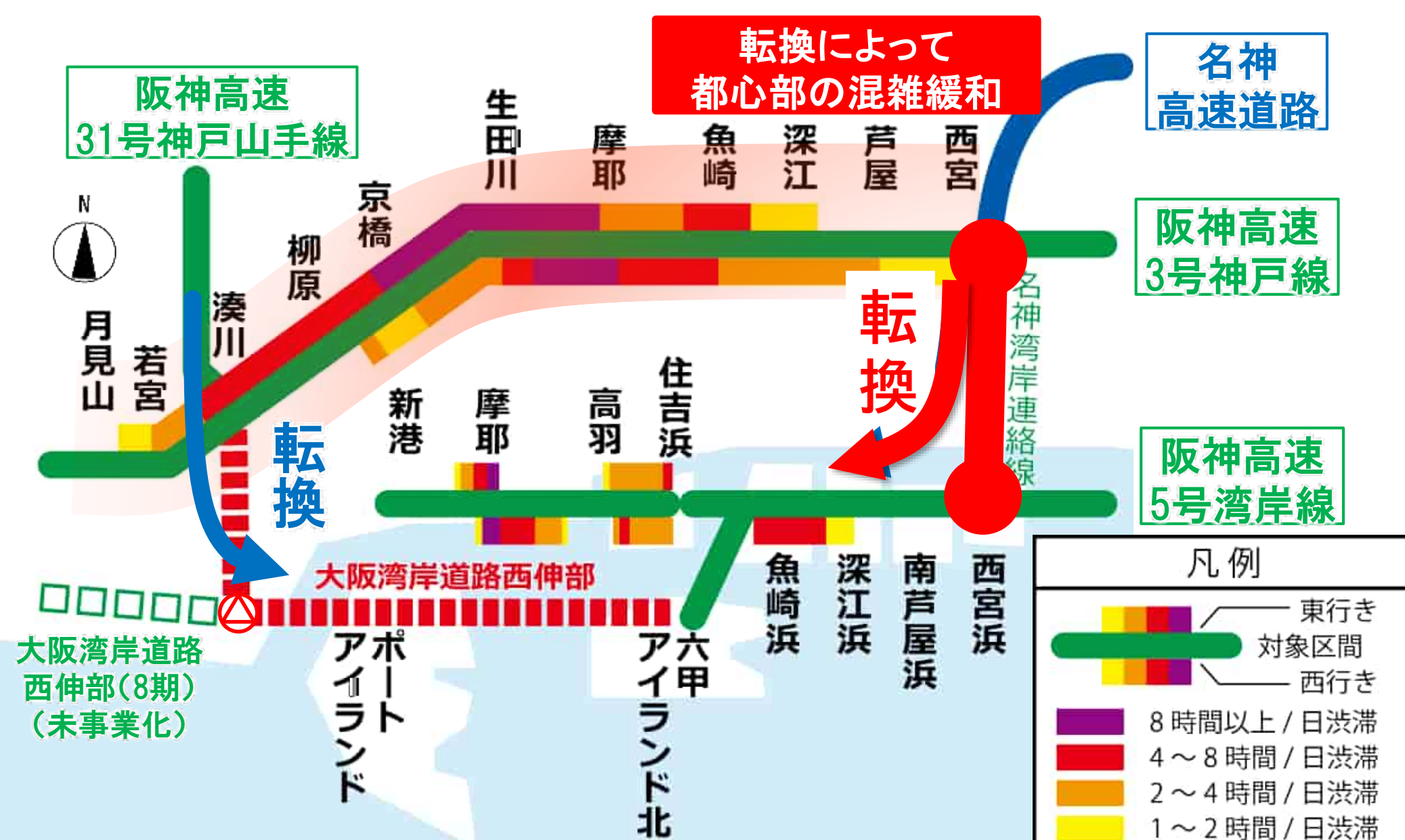


大阪湾バイエリアの活性化 スムーズで無駄の無い物流が可能に



大阪湾岸道路などに交通を転換させることで、「早く」「確実な時間」での輸送可能となり、物流の効率化に期待

■阪神高速3号神戸線の渋滞状況



時間短縮と定時性の確保

大阪以东(吹田JCT) ▶▶ 神戸港

大阪湾岸道路西伸部
名神湾岸連絡線
整備前

最短 35分
最長 60分

大阪湾岸道路西伸部
名神湾岸連絡線
整備後

最短 29分
最長 38分

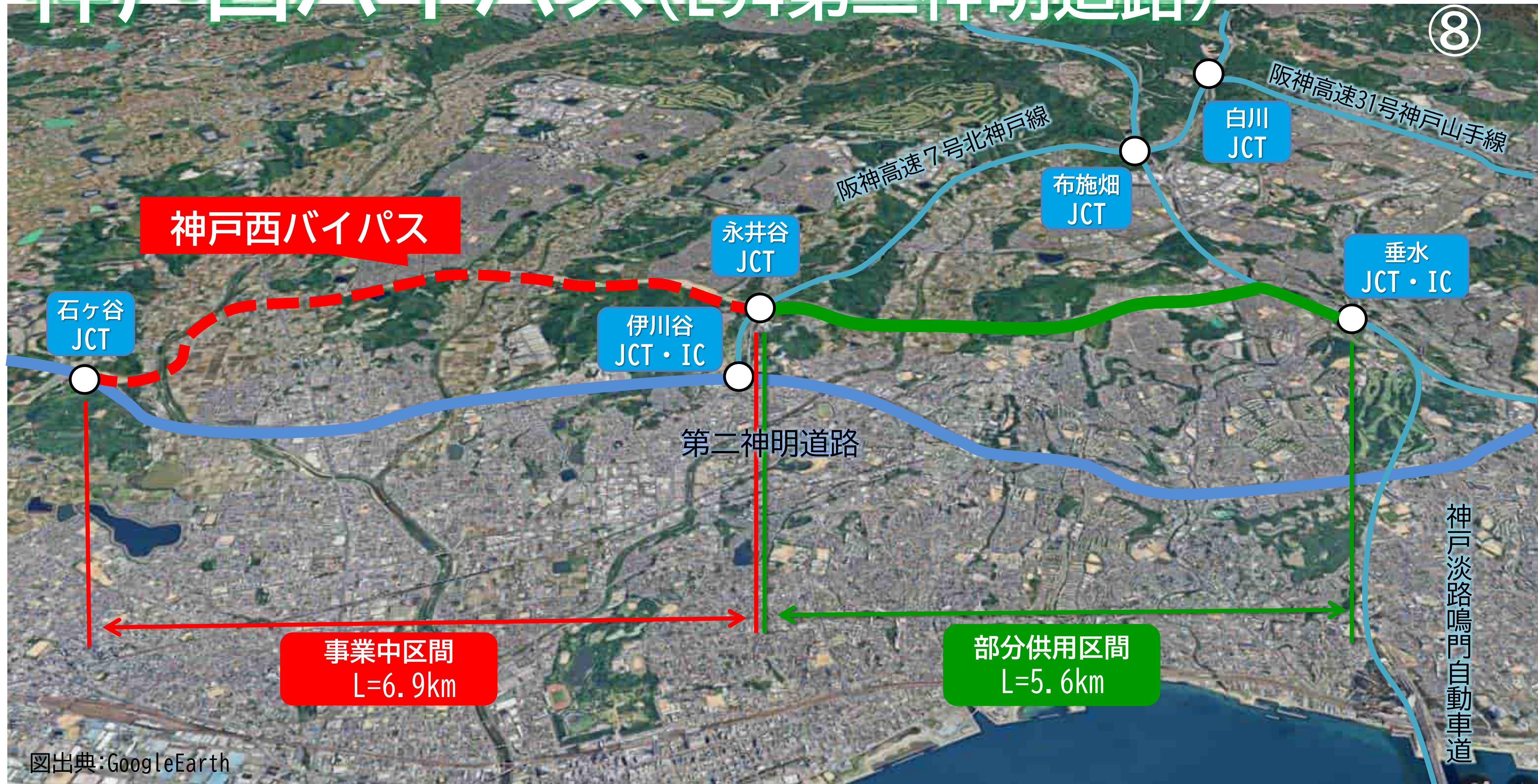
所要時間(分)

出典:ETC2.0プローブデータ2022年9～11月平日昼間12時間の日別時間帯別ルート所要時間を算定

■物流拠点(阪神港※)へのアクセス状況



神戸西バイパス(E94第二神明道路)



図出典: GoogleEarth

渋滞解消によるスムーズな交通と
物流効率化による経済活動の支援



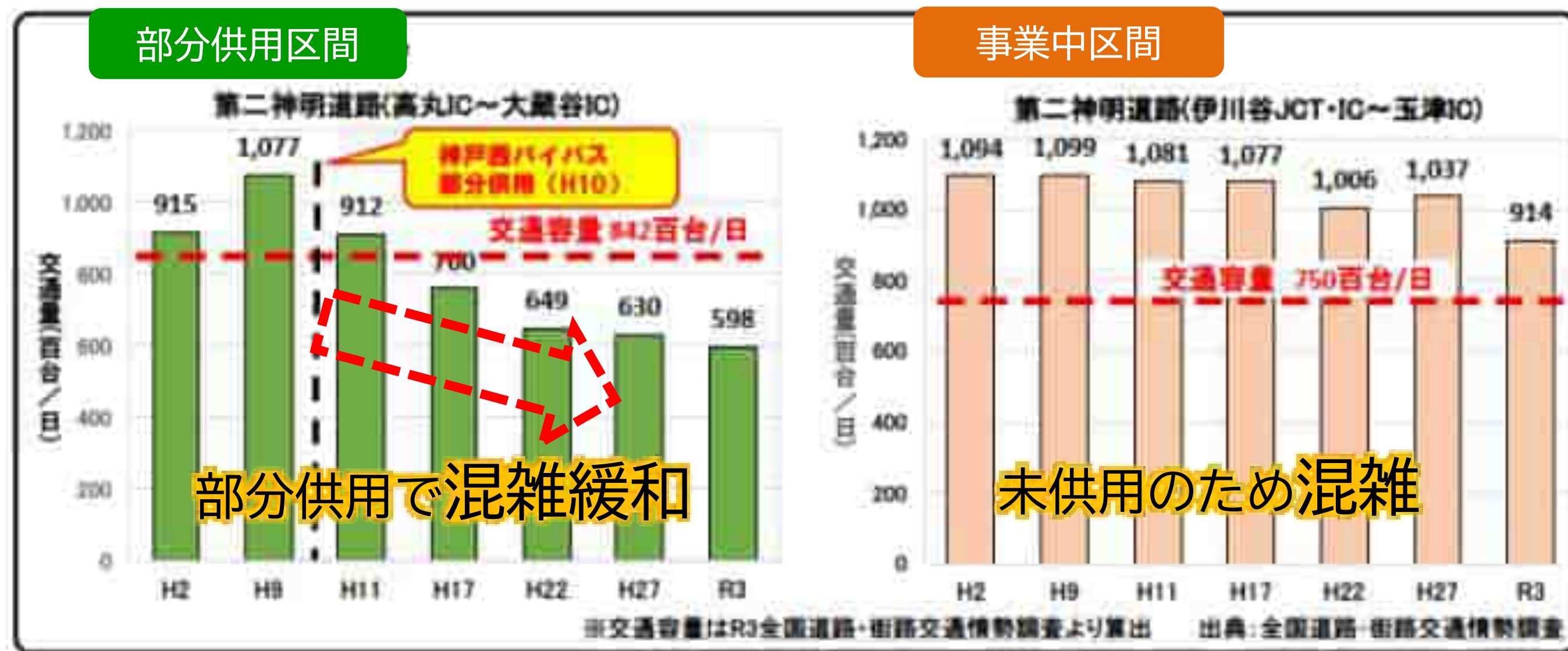
兵庫国道事務所



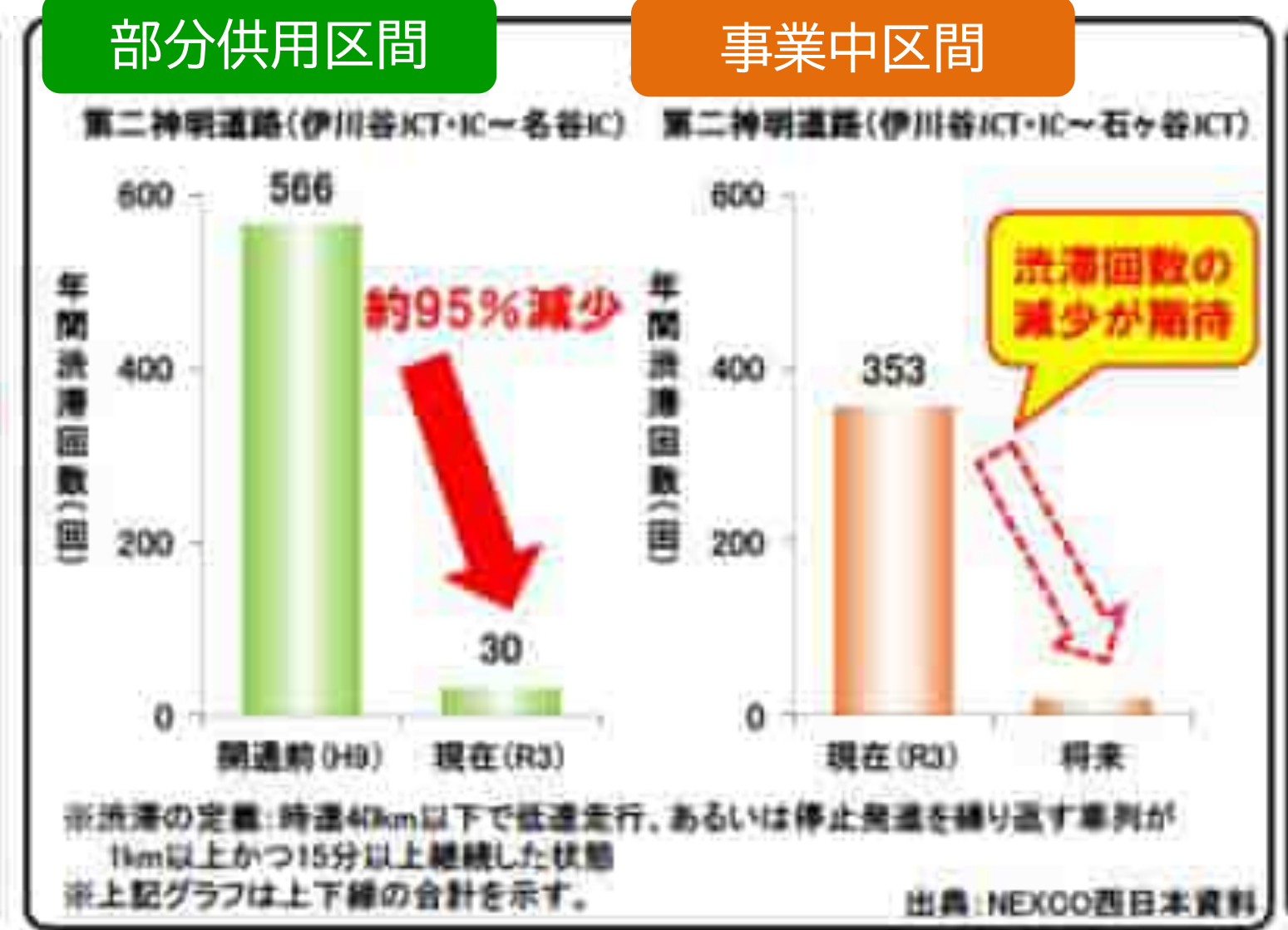
NEXCO西日本(株)

交通混雑の緩和

○第二神明道路の交通量の変化



○第二神明道路の年間渋滞回数



出典: 近畿地方整備局事業評価資料

物流の効率化支援

第二神明道路を走行する大型車
阪神・播磨地区が約7割を占める

所要時間の短縮や
バラつき緩和により...

「より早く！」
「確実な時間に！」
運搬することが可能に

出典: 近畿地方整備局事業評価資料



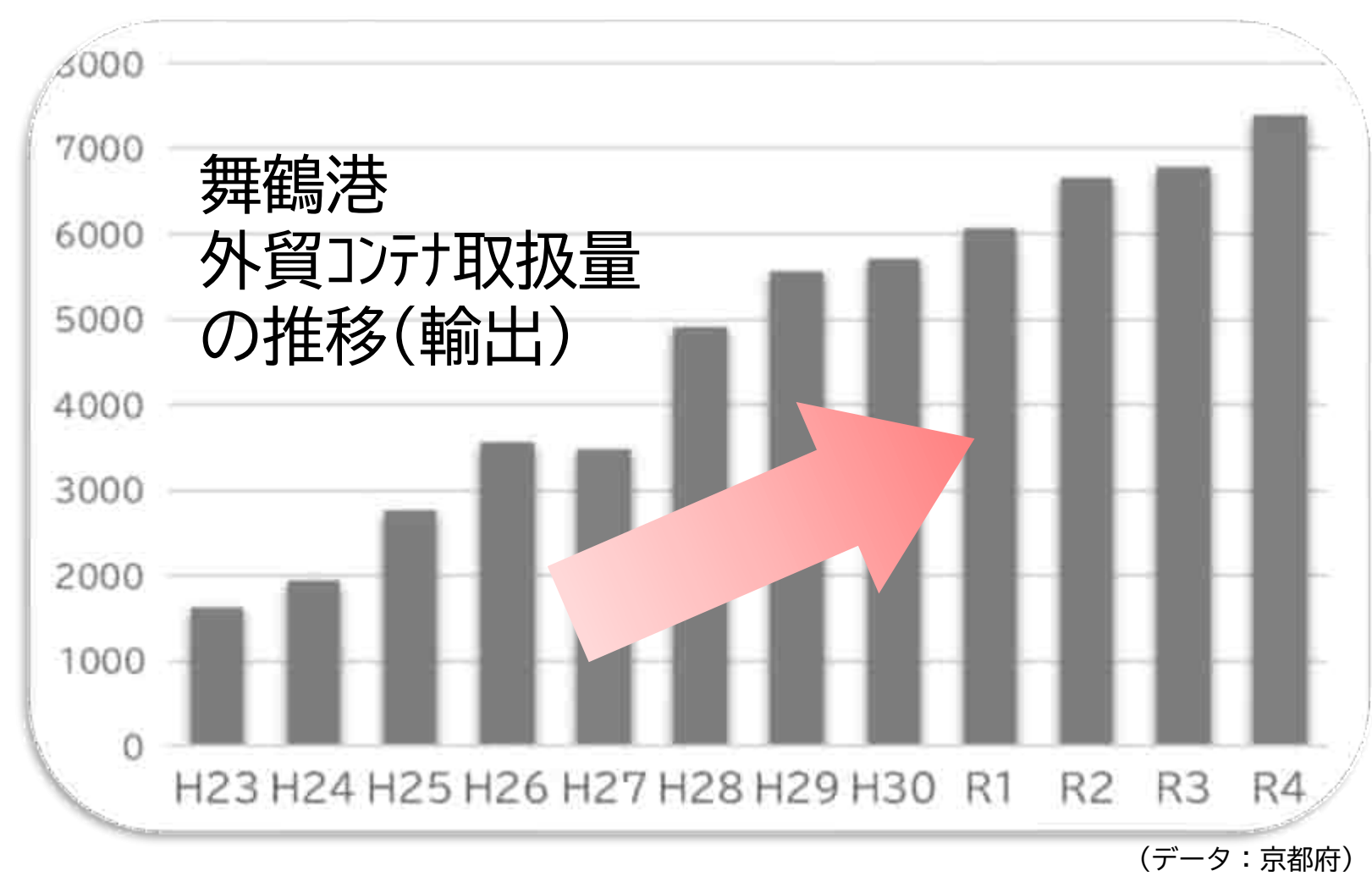


物流の強化（広域物流網の確立）と 命をつなぐ（地域医療を支える）道路

■広域物流網の確立に寄与

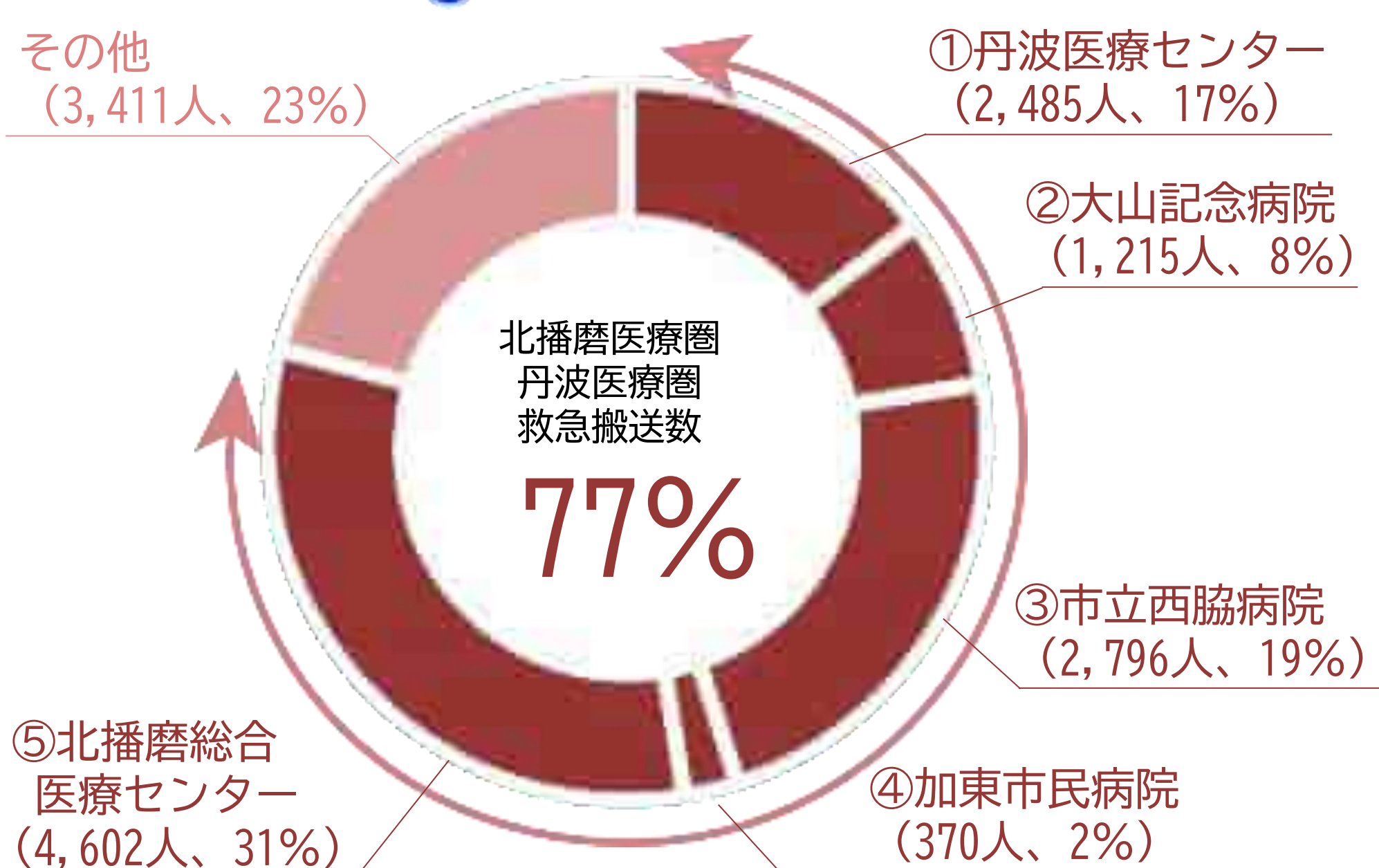


日本海側と太平洋側を結ぶ 主要な物流ルート

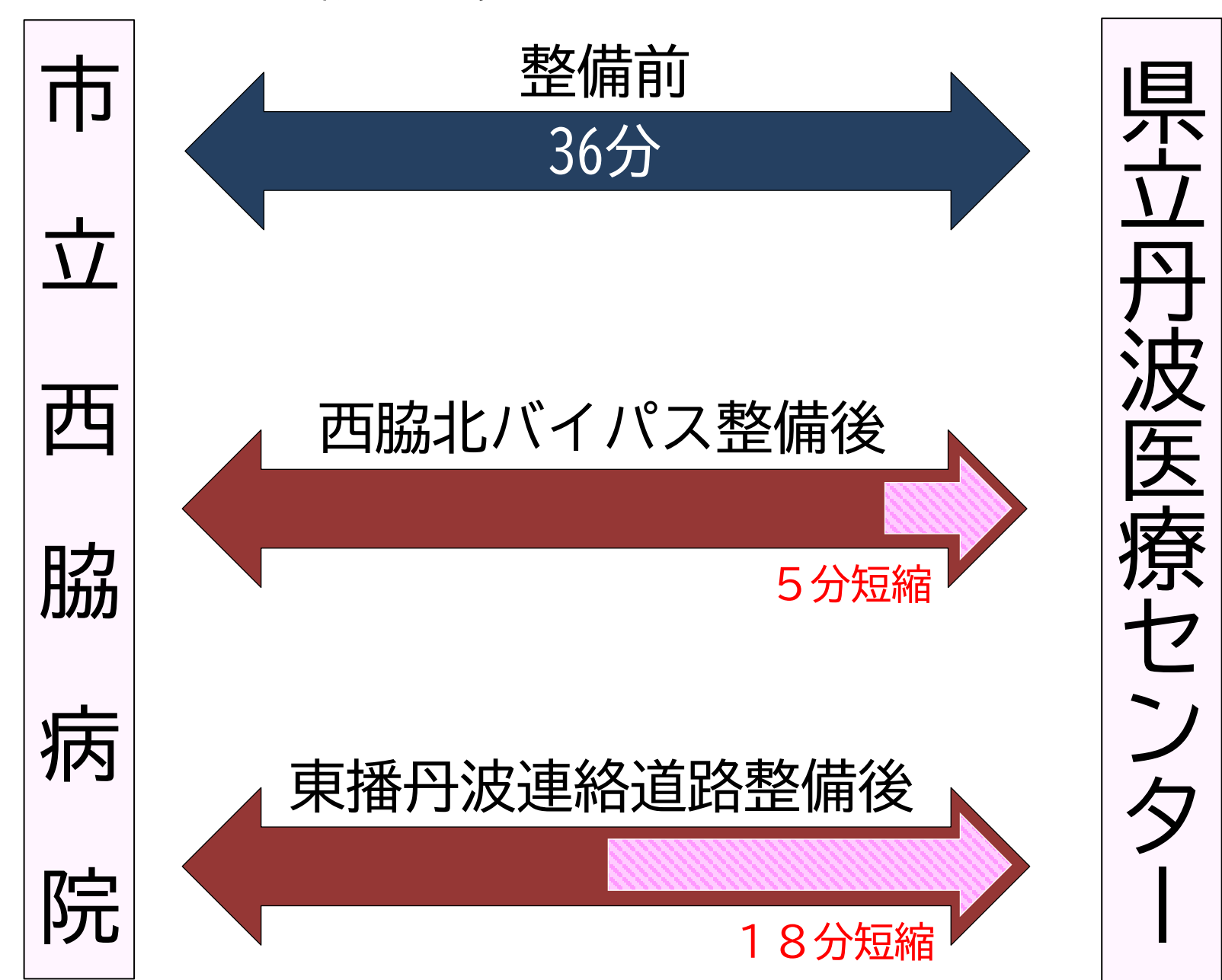


■地域医療を支える

北播磨・丹波地域の救急患者のうち
約8割が 175 沿線の病院に搬送

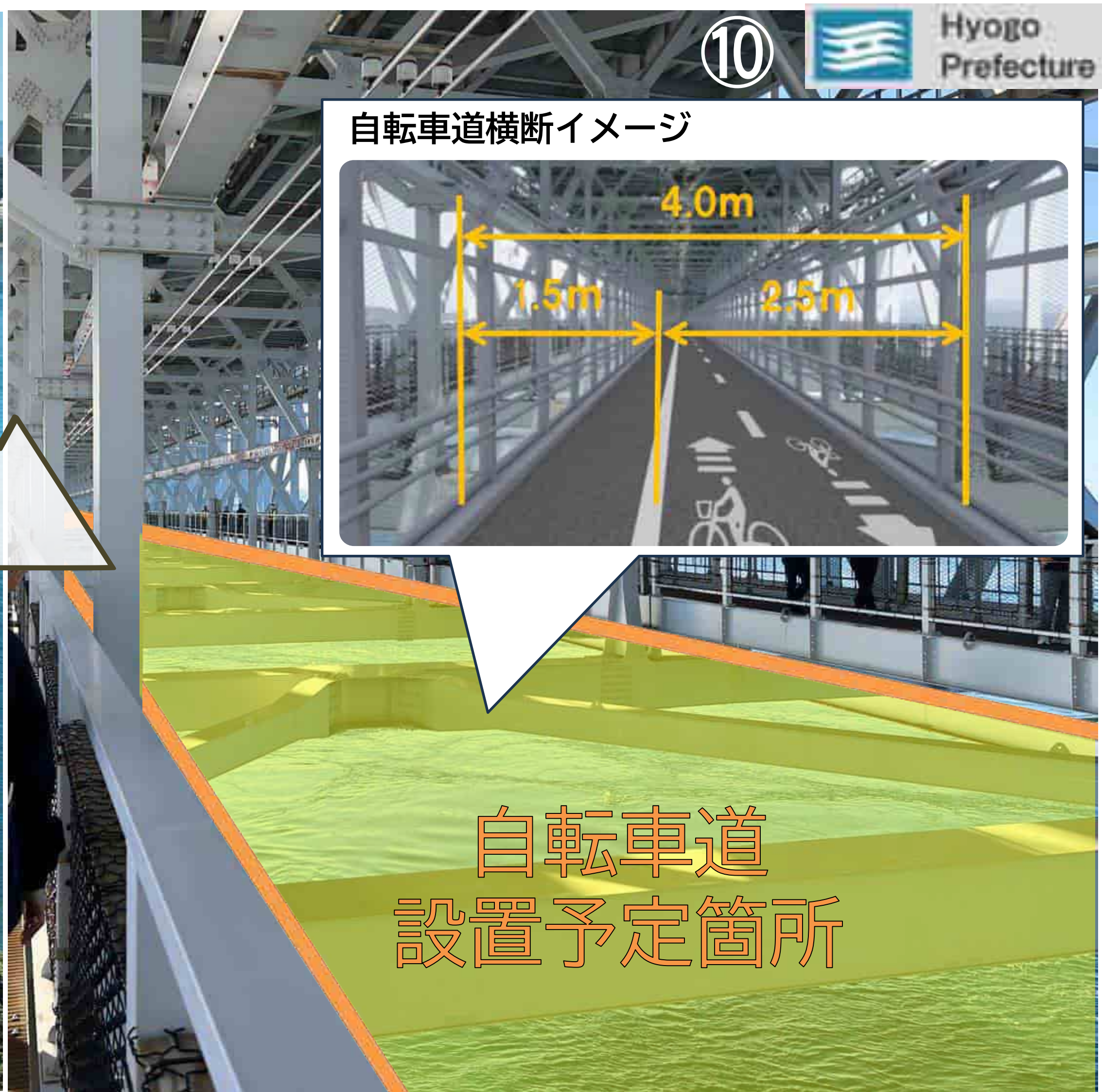


救急搬送所要時間の半減で救命率が向上 (参考：呼吸停止後、未処置10分で約50%が死亡)





大鳴門橋自転車道



四国と淡路島をつなぐサイクルゲートウェイ
サイクリスト9万人、一般観光客35万人の来場を想定

- 「アワイチ」の更なる発展、広域的なサイクルツーリズムの実現
- 渦潮観光の一大拠点となり、多数の誘客が期待できる



サイクリストの増加に伴い…

7万台/年 × 13,400円/人

サイクリスト観光消費額
(アンケート結果より)

観光消費額

約9.4億円/年

の増額が見込める

災害時の緊急避難路



県民の声



完成が楽しみ！

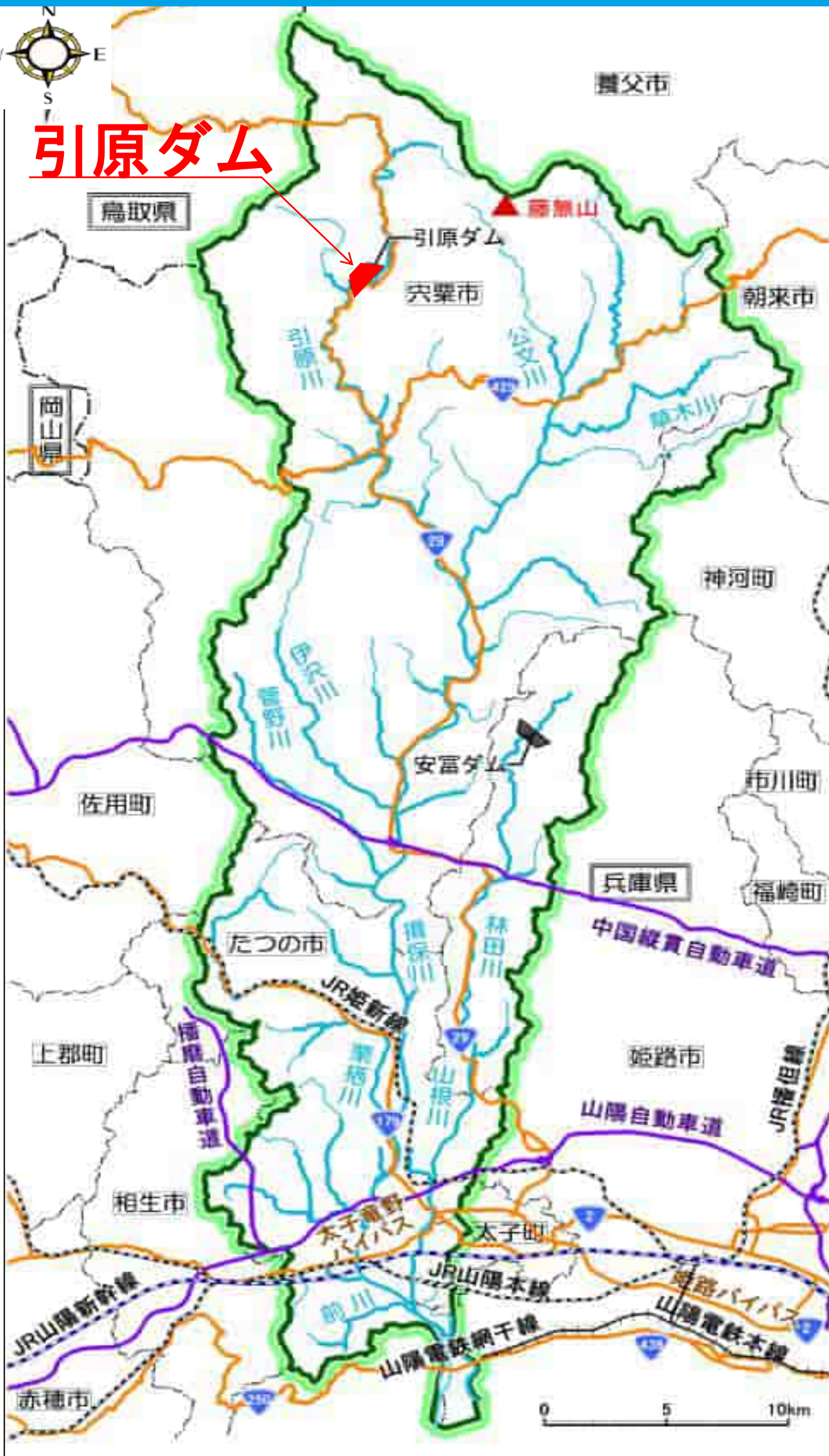


絶対に走りたい！



行ってみたい！

※アイコンはCopilotにより生成



引原ダム再生事業

ダム再生による治水安全度の向上 損保川流域における浸水被害の軽減



平成30年7月豪雨時の引原川の状況

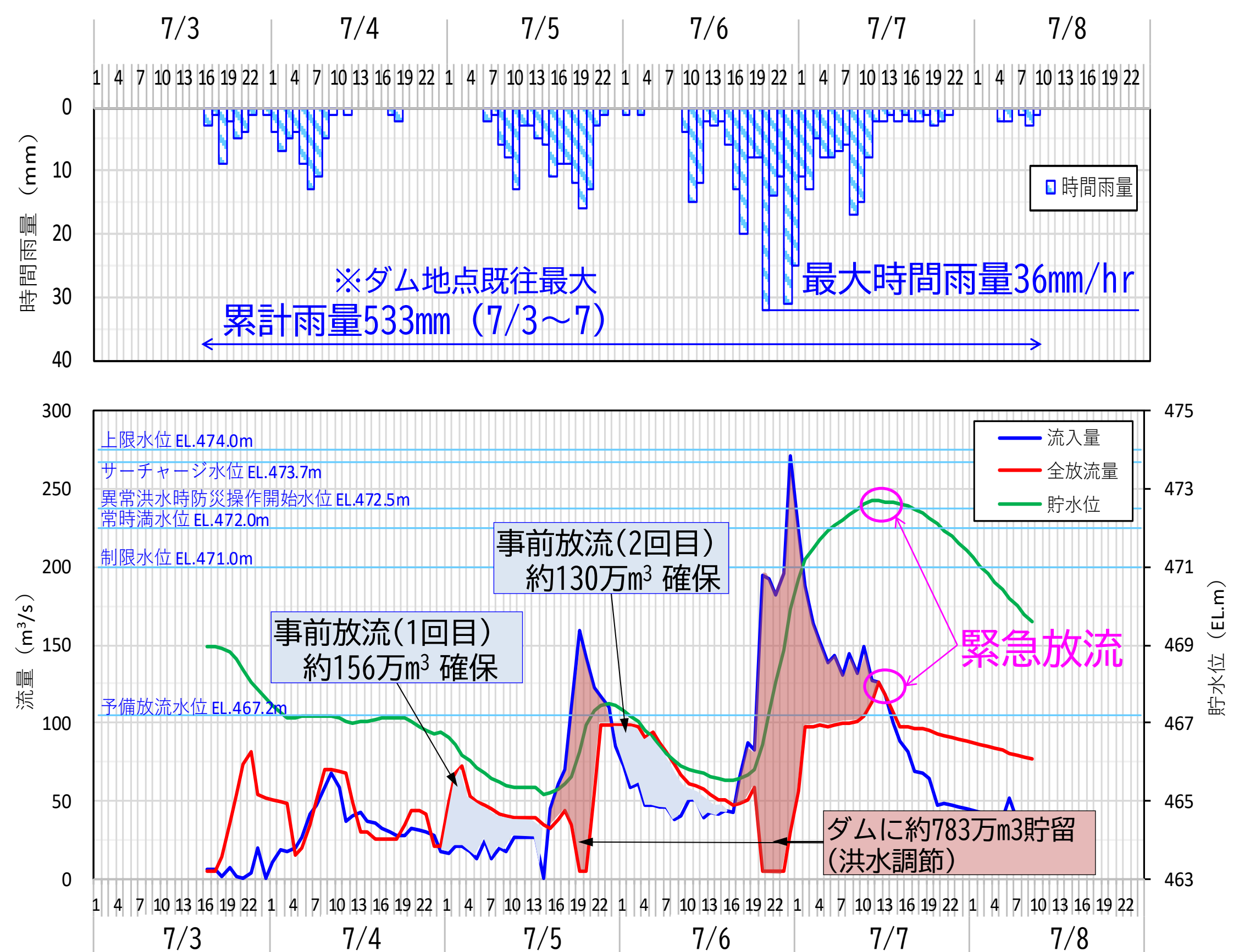


平成30年7月豪雨時の引原ダム放流状況

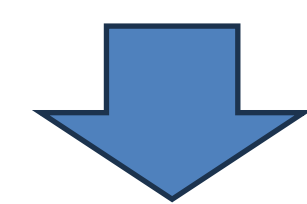


平成30年7月豪雨時の降雨とダム貯留状況

- ・引原ダム地点において、累計雨量533mm、最大時間雨量36mmを観測。
- ・最大流入量約285m³/s(既往最大)をほぼ全量カットし、約783万m³をダムで貯留。
- ・利水者と調整のうえ、2回の事前放流を実施し、ダムに洪水を貯留できる容量を増やしたが、上流からの流入量と同量を放流する緊急放流を実施した。



ダムの貯水容量拡大や放流設備の増強等、既存ダムを有効活用する「ダム再生」により



平成30年7月豪雨と同等の降雨でも異常洪水時防災操作による緊急放流を回避することで、下流域の河川水位の低下が図られ、治水安全度が向上する。

西脇市役所新庁舎・市民交流施設

H16災害 浸水区域

加古川

国道175号

(平成22年度完了)

加古川水系激甚災害対策特別緊急事業

治水安全度向上により、まちが活性化

1 治水安全度が向上した中心市街地(加古川右岸)に市役所を移転

- 市役所新庁舎及び市民交流施設を建設し、「健康交流」「地域交流」「観光交流」の3つの機能を確保
- 「健幸都市にしわき」の実現に向け、新たなまちづくりと賑わい創出の役割を担う



令和3年5月完成

出典：西脇市ホームページ

2 治水安全度が向上した地域(加古川左岸)に工場が立地

- 大きな被害を受けた畑谷川が整備され、地域の浸水リスクが大幅に低減
- 西日本の拠点となる工場が多数進出

日清食品グループの乳製品・清涼飲料メーカー。
西日本初の生産拠点。



日清ヨーク(株)



平成22年10月操業

グラスアイスを西日本全域の
セブンイレブンに出荷。



(株)西日本コクボ



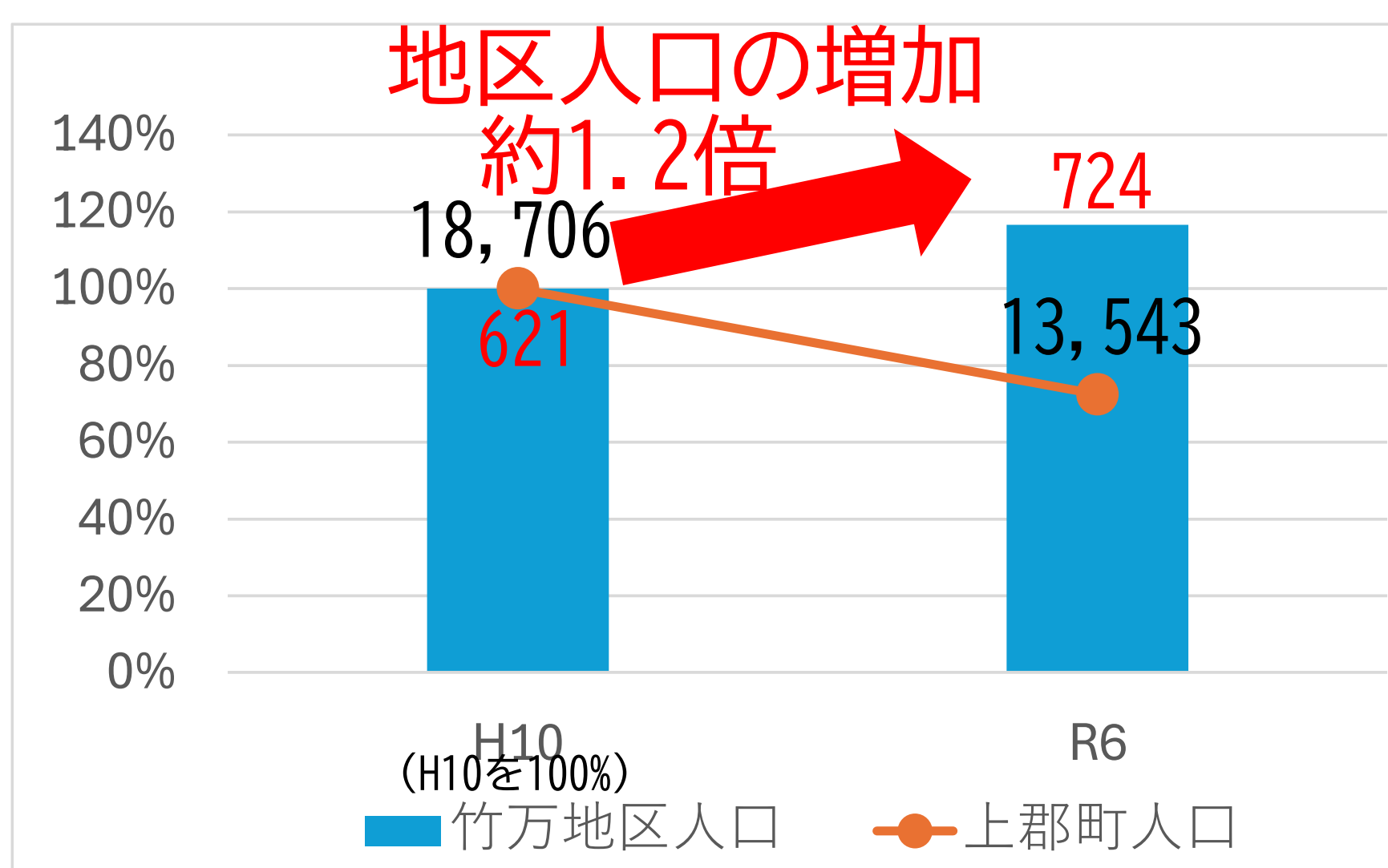
平成26年6月操業



安全・安心から生まれる地域の発展

治水安全度の向上による市街地の発展

- ✓ 上郡町竹万(ちくま)地区土地区画整理事業により良好な商業・住宅用地が創出
- ✓ 大型商業施設等の進出や公営住宅の整備により地域の拠点が形成
- ✓ 地域の人口が約30年間で約1.2倍に増加
- ✓ 毎夏、清流・千種川の河川敷を舞台に、多世代が楽しめる夏祭りを開催



“川の都” かみごおり川まつり



国道179号

(平成27年度完了)
佐用川災害復旧助成事業

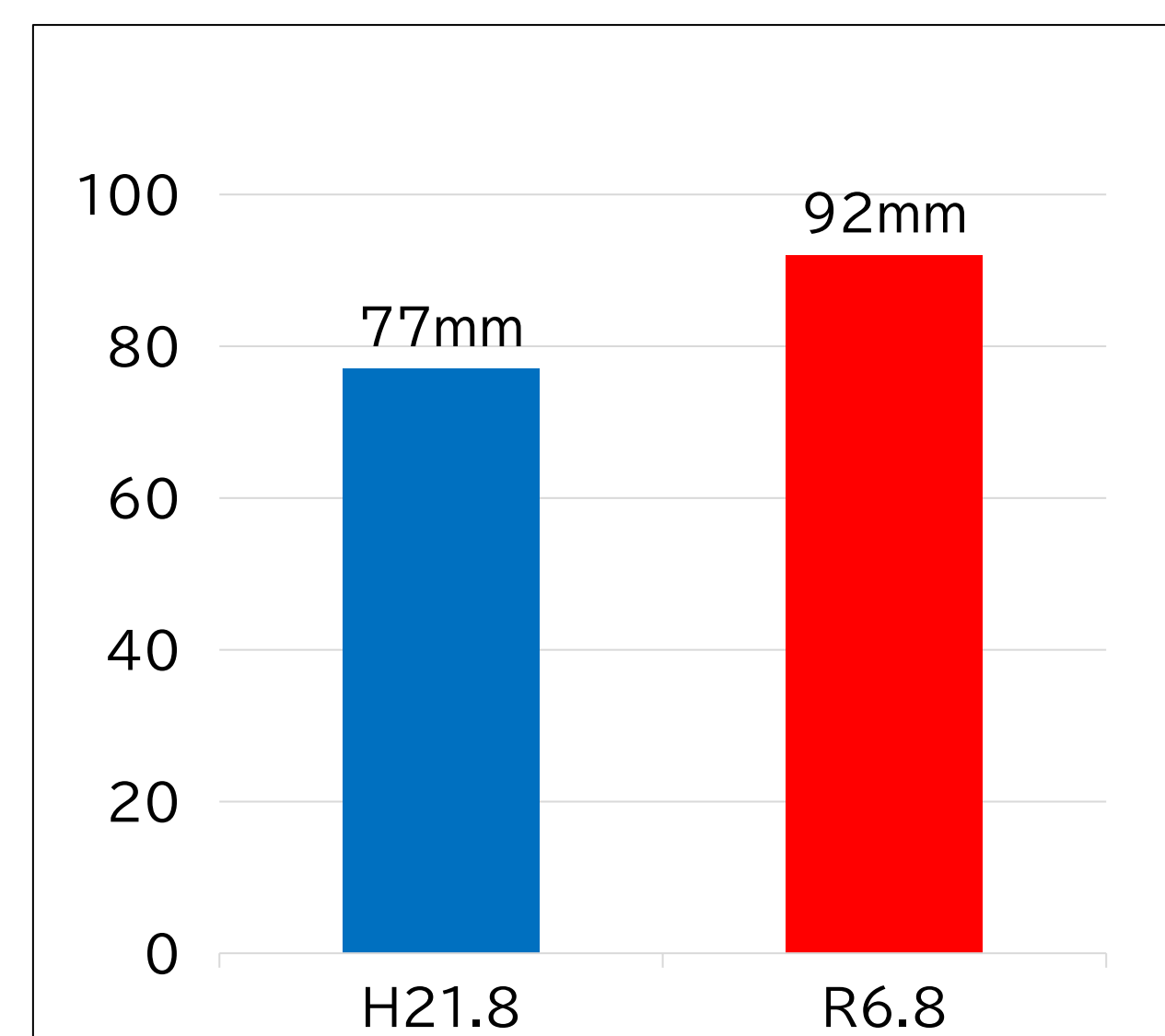
河道改修により、氾濫危険水位を回避

■ 災害復旧助成事業により、川幅が約1.3倍に拡大

- ✓ 平成21年8月台風第9号で甚大な浸水被害が発生したことから、河川改修を実施

■ 水位低下効果により、治水安全度が向上

- ✓ 令和6年8月27日の豪雨では、「記録的短時間大雨情報」が発表され、60分雨量で平成21年8月出水を超える雨量を観測
- ✓ 河道改修により、約1.0mの水位低下効果を発揮し、氾濫危険水位を回避



60分雨量比較(佐用雨量観測所)

川幅を12m拡大

川幅約48m → 60m

改修前断面による計算水位 約3.8m

↓ R6.8.27 実績水位 2.85m

約1.0m水位低下

築堤

掘削

佐用川(佐用水位)

- ・氾濫危険水位 : 3.80m
- ・避難判断水位 : 3.00m
- ・氾濫注意水位 : 2.80m
- ・水防団待機水位 : 2.50m

井堰改築前



15

Hyogo Prefecture

H25 浸水区域

和田井堰

国道427号

杉原川大規模特定河川事業

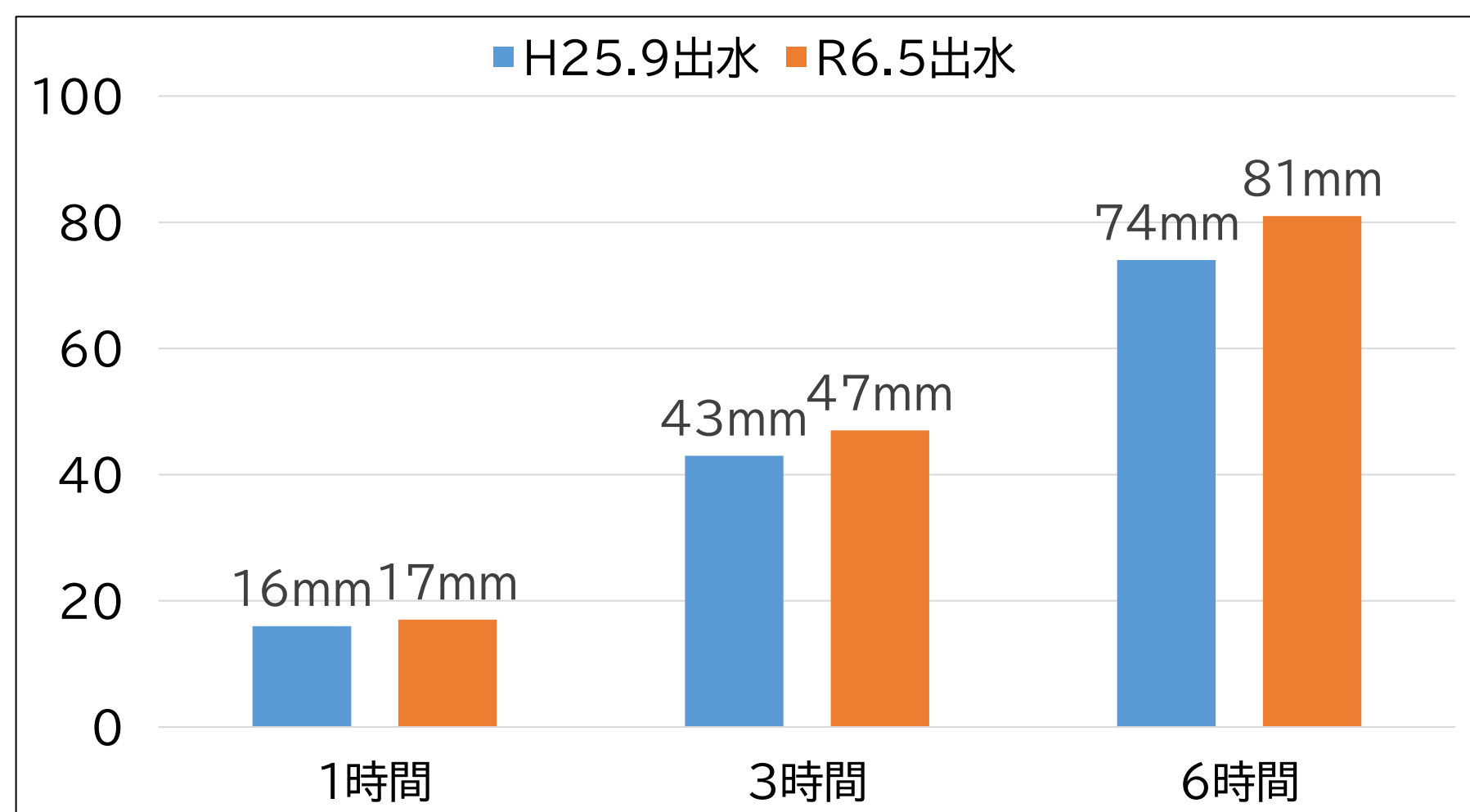
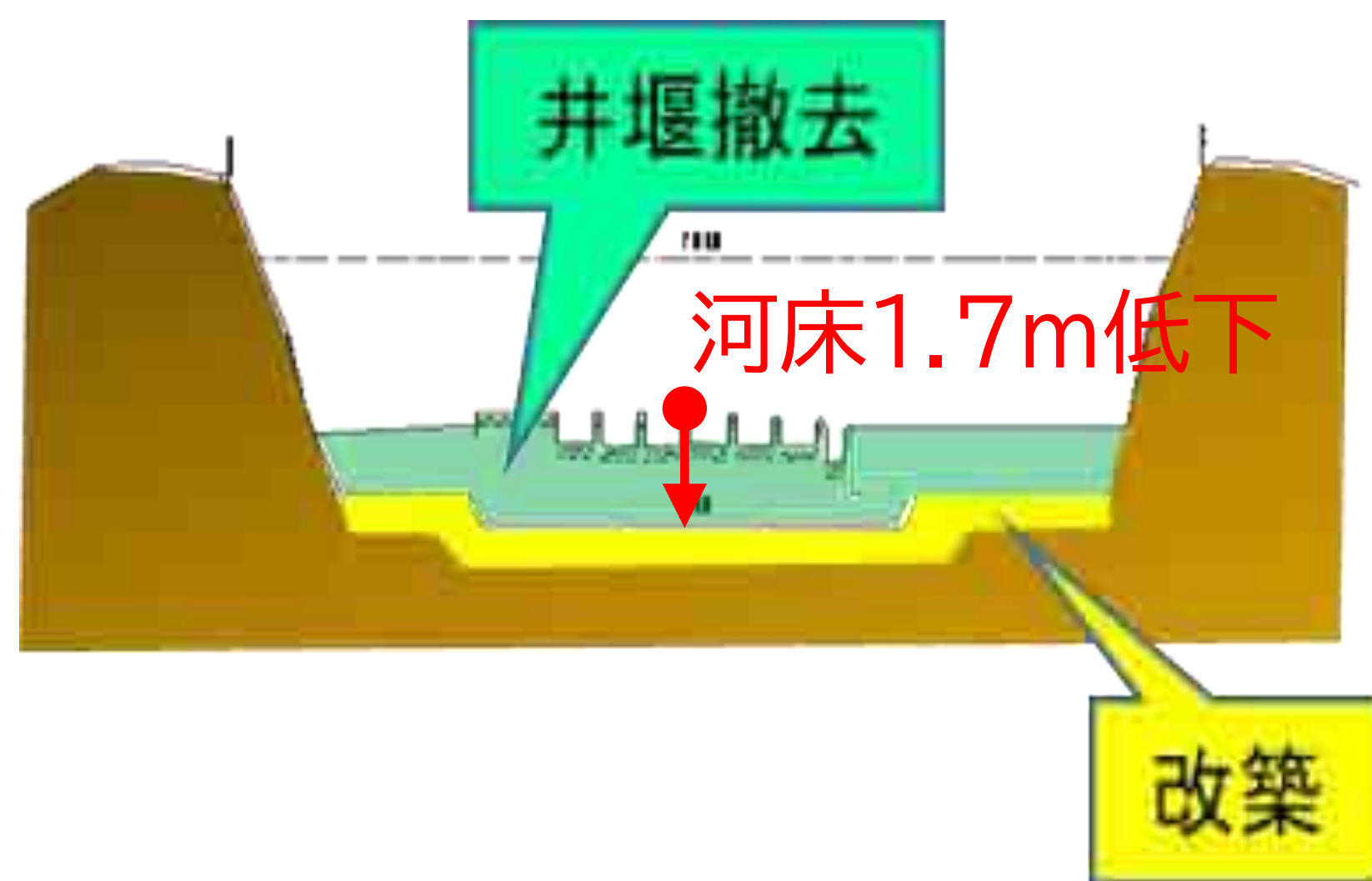
治水安全度の向上により、家屋浸水を解消

■ 井堰改築(固定堰→ポンプ施設)により、河川断面が約40%拡大

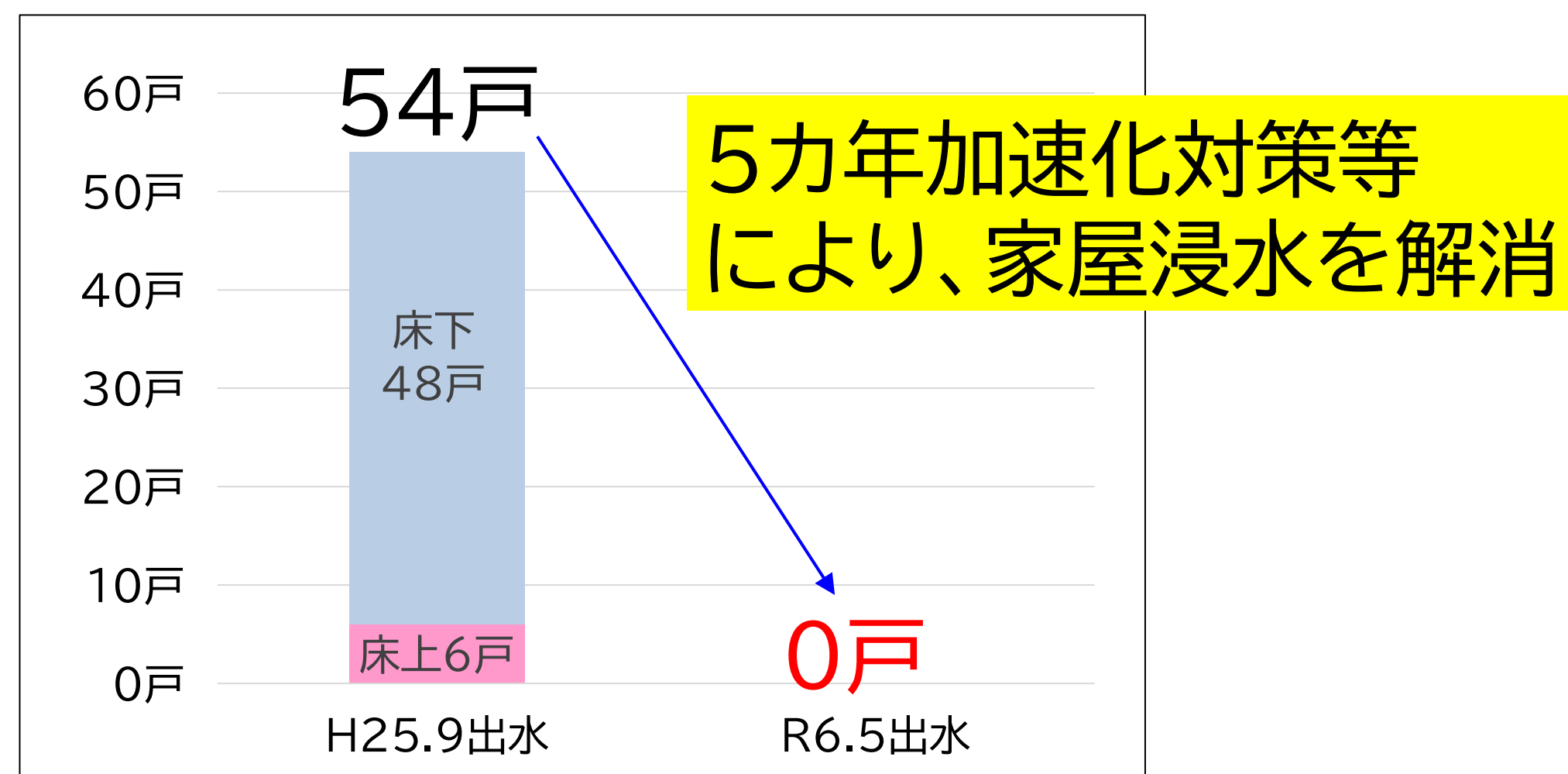
- ✓ 平成25年9月の出水で、床上6戸、床下48戸の家屋浸水被害が発生
- ✓ 出水を踏まえ、5カ年加速化対策等を活用し、緊急的かつ集中的に井堰改築を実施

■ 治水安全度向上の効果を発揮

- ✓ 令和6年5月28日の豪雨では、平成25年9月の出水を上回る雨量を観測
- ✓ 井堰改築による流下能力向上で、家屋浸水を解消



雨量比較(加美観測所)



浸水戸数比較

5カ年加速化対策等により、家屋浸水を解消



令和8年2月撮影



地理院タイルを加工して作成

新川水門 新川・東川統合排水機場整備事業

水門、排水機場による高潮浸水範囲減少 重要な都市機能を高潮・津波から防護



現在の排水機場は建設から50年以上が経過し
老朽化が進み、機械設備の部品入手も難しくなっている

2機場を統合した排水機場を整備し
排水機能の保持と信頼性を向上させる

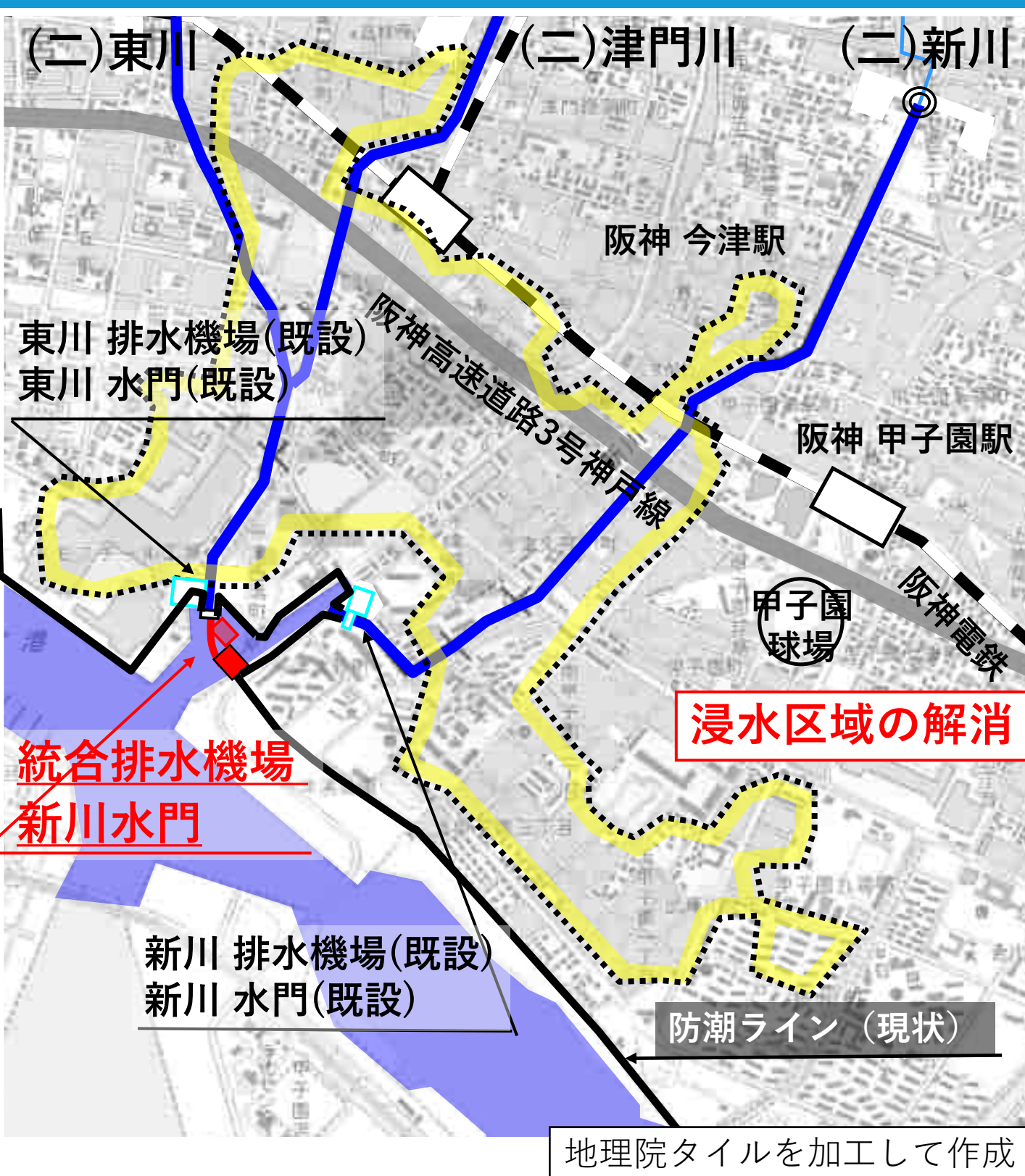
現在の新川水門、新川排水機場



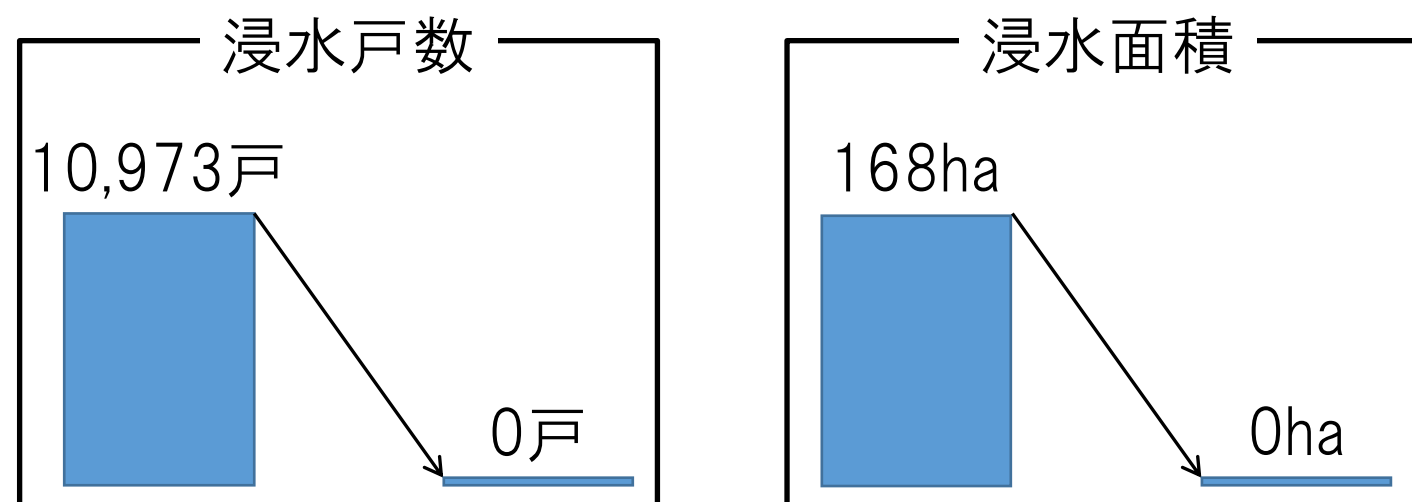
現在の東川排水機場



水門、統合排水機場の完成イメージ図



高潮浸水被害の解消



R6年3月に新しい水門と護岸が完成し
津波からの被害を軽減します



平成30年台風21号高潮状況

地理院タイルを加工して作成



尼崎閘門・東浜排水機場老朽化対策事業(尼崎市)

計画的な老朽化対策により 海抜ゼロメートル地帯の浸水を防ぐ



- ・昭和30年代以降に整備した尼崎閘門(通称:尼ロック)含む防潮施設と排水機場により、市域の約17km²の海抜ゼロメートル地帯を津波・高潮から防護
 - ・防災学習施設を併設し、県民の防災意識向上に寄与
 - ・施設の老朽化対策で、今後も継続的に浸水被害を防止
- (参考)尼崎閘門は令和6年公開映画「あまろっく」のタイトルの由来となりました。



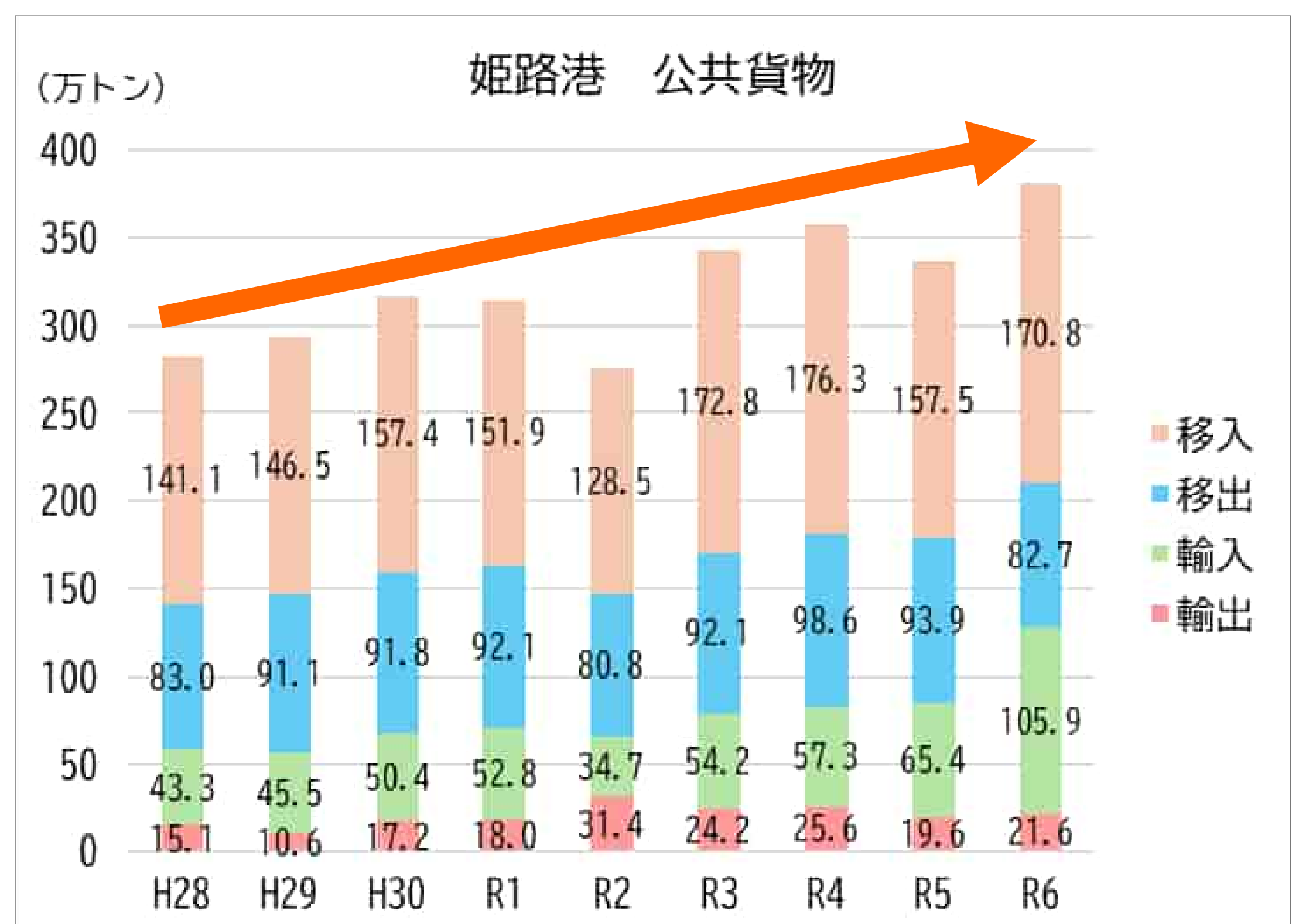


播磨臨海工業地帯の中核 ～新たな投資の呼び込みへ～



「ターミナルの拡張」や「臨港道路の整備」により物流が効率化
貨物需要の増大や船舶の大型化に対応

- ・ 近年、輸入貨物の増加が顕著
- ・ ターミナルの整備により企業立地が促進
- ・ 姫路港広畑地区の強化により播磨臨海工業地帯の発展をけん引





味噌谷川砂防堰堤



味噌谷川砂防堰堤

地域を守る砂防堰堤

令和5年台風第7号豪雨による土石流を捕捉



発生箇所: 兵庫県豊岡市日高町観音寺

降雨状況: 連続雨量242mm 時間最大雨量49mm

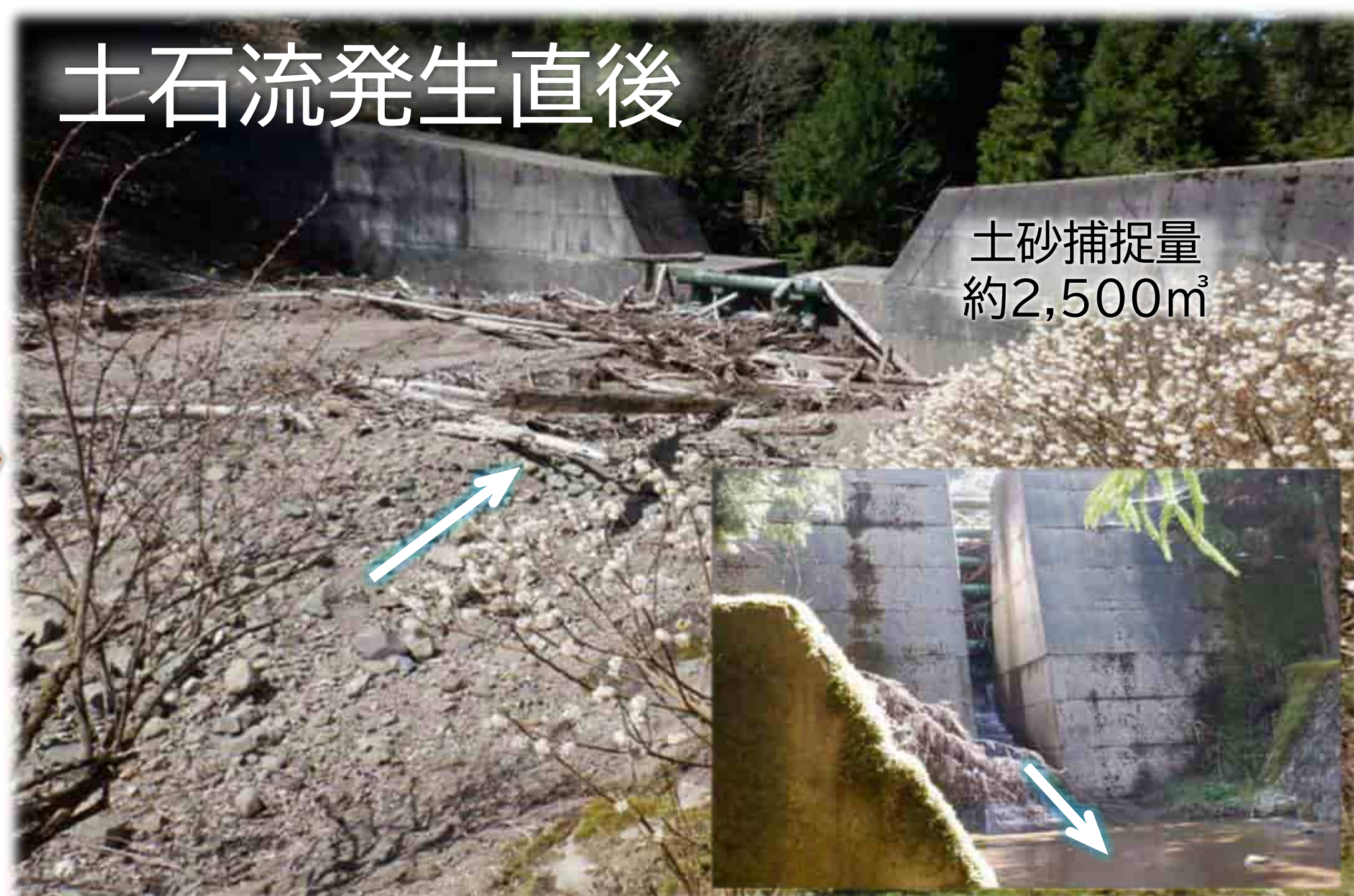
施設概要: 味噌谷川砂防堰堤(平成13年度完成)

効果: 人家84戸、公共施設等を保全しました!

土石流発生前



土石流発生直後



保全対象人家



保全対象人家



兵庫東流域下水汚泥広域処理場

汚泥処理施設改築工事

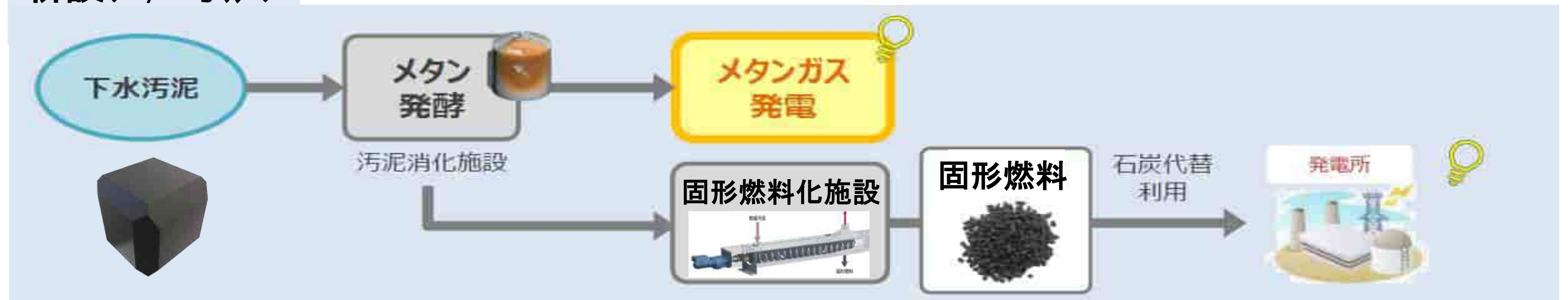


～脱炭素社会の構築に向けて～
下水汚泥の有効利用 ▶ 温室効果ガス排出を削減

従来(2,3,4号炉)

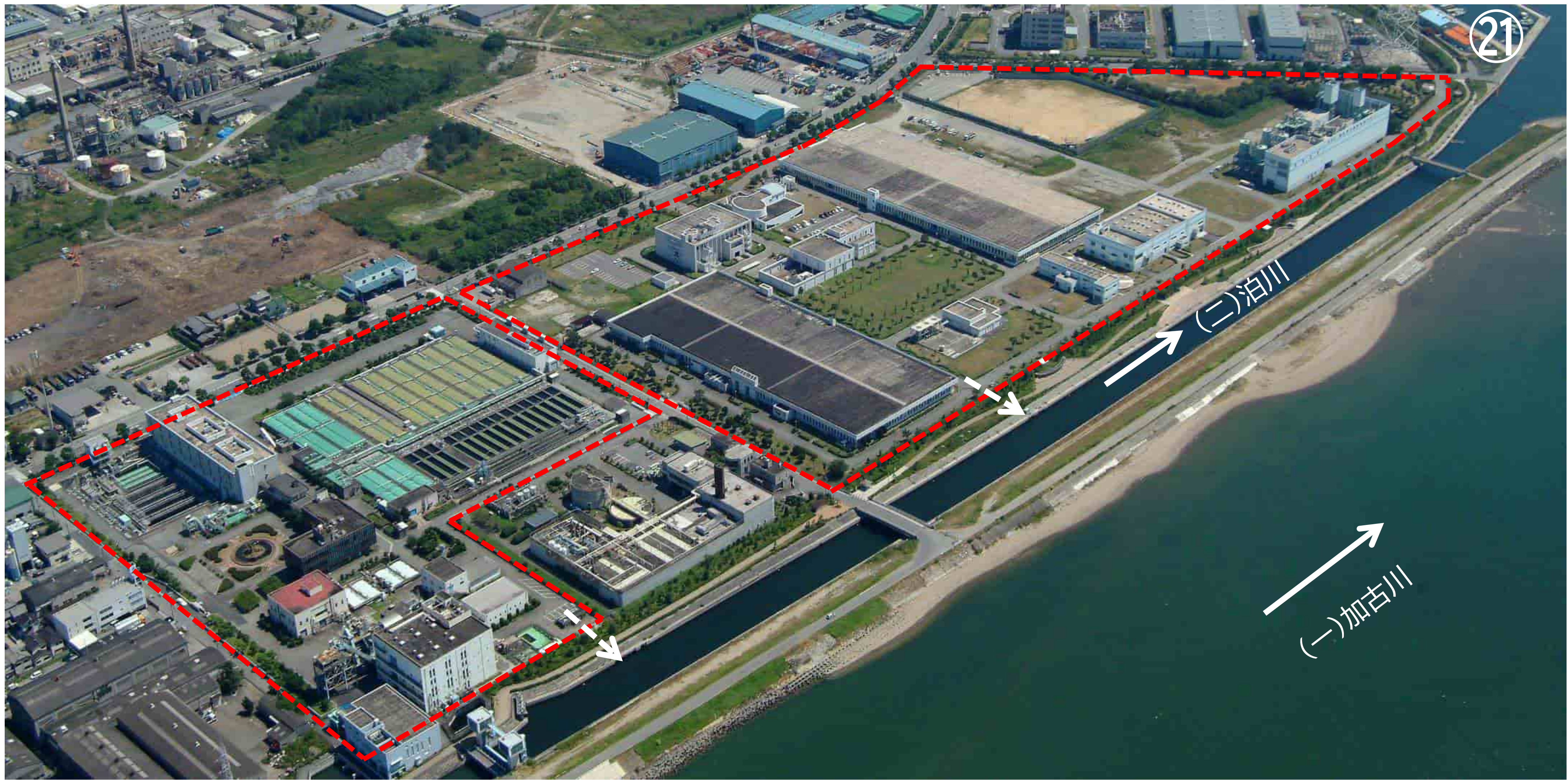


新設(5,6号炉)

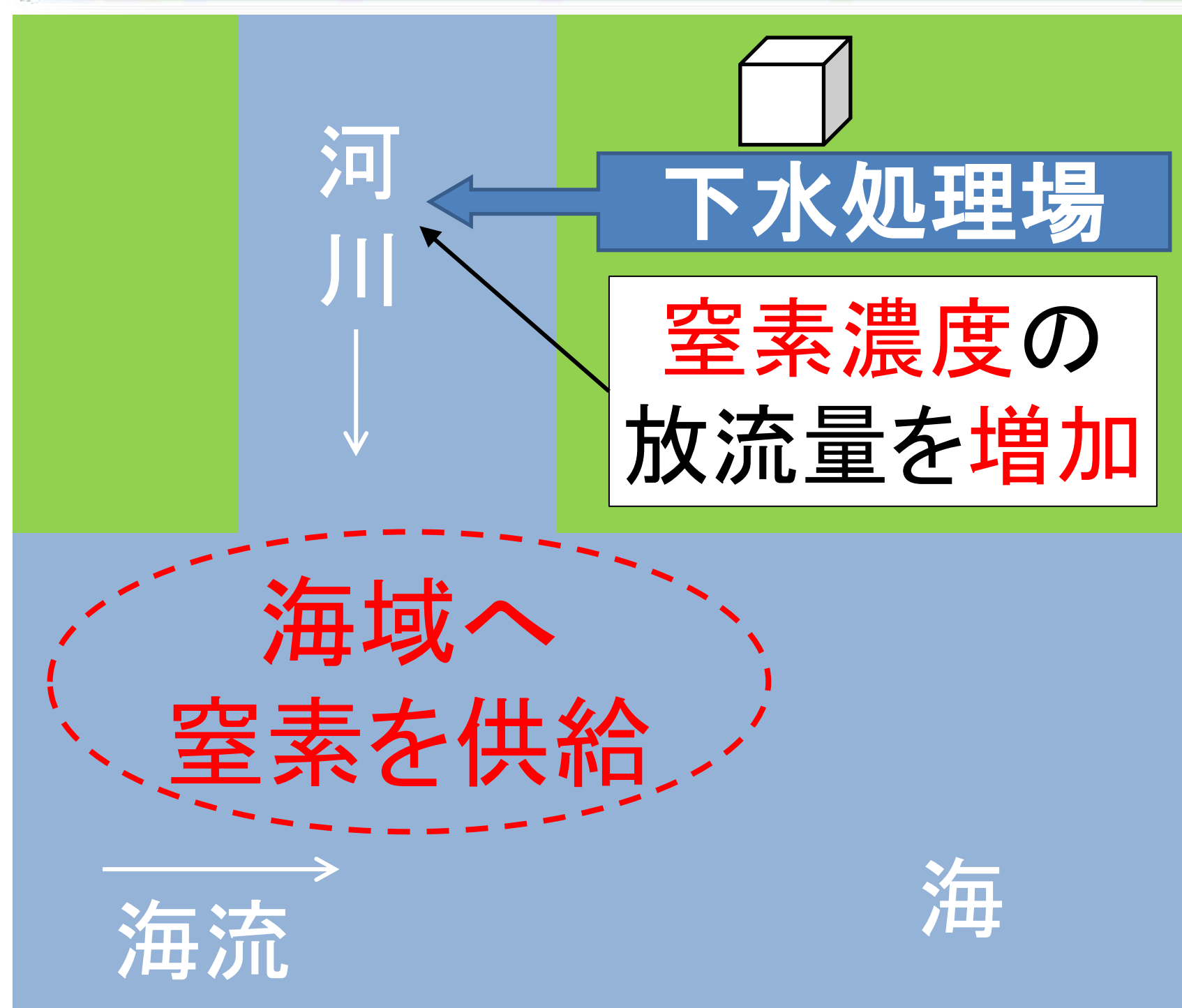


➤ 従来は焼却・埋立処分していた汚泥をメタン発酵による発電と固形燃料化によるエネルギー利用を図り、温室効果ガス排出を削減。

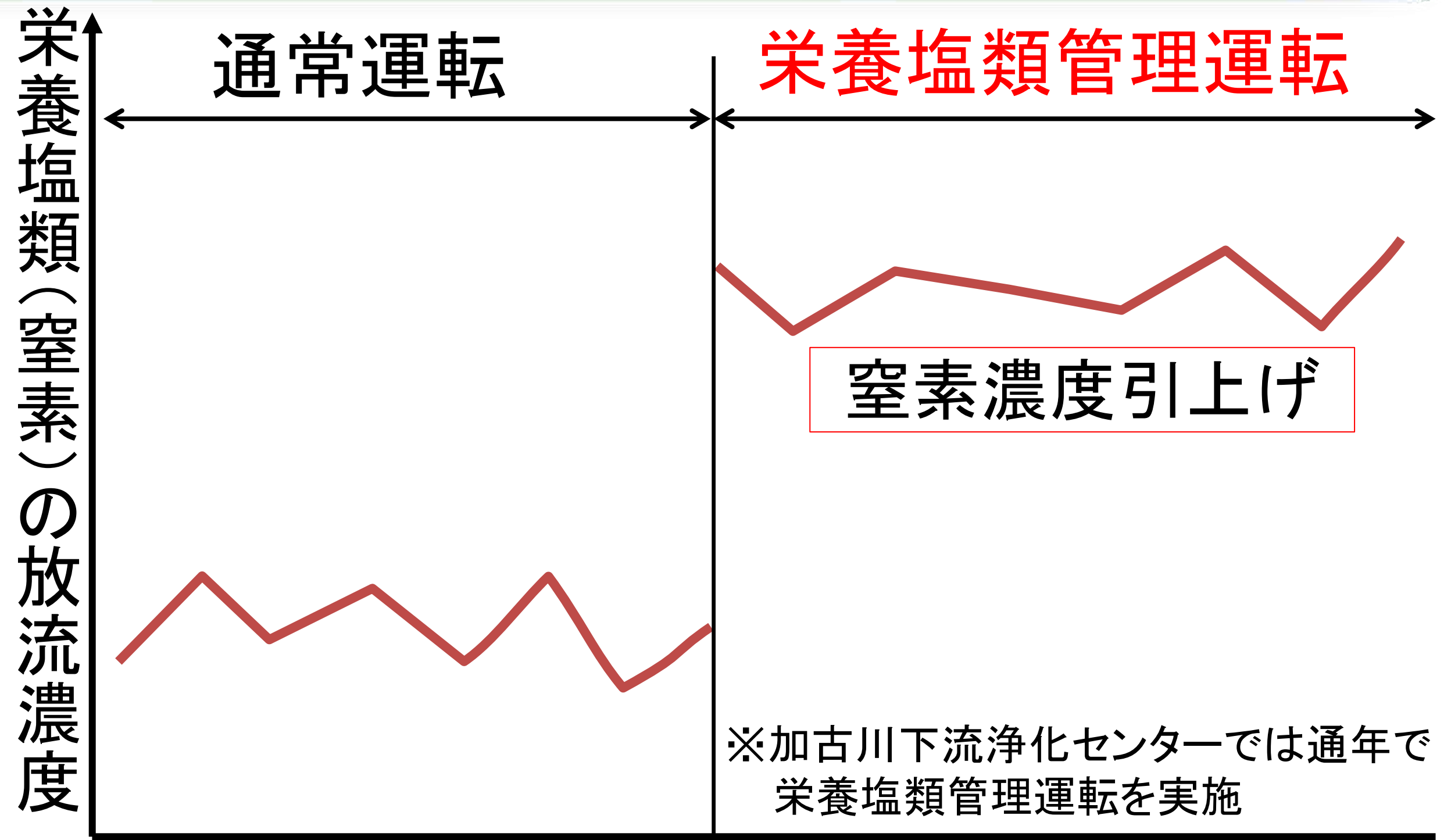
(鋼板製消化槽と汚泥燃料化施設規模は国内最大級)



～豊かな海に向けて～ 下水処理場における栄養塩類管理運転



下水処理場の栄養塩類管理運転
(イメージ図)



栄養塩類管理運転による放流水中の窒素濃度変化
(イメージ図)

栄養塩類管理運転

下水放流水に含まれる栄養塩類(窒素)濃度を高く放流する

- ・ノリの色落ち防止、品質向上
- ・植物プランクトンが増殖し、水産資源への回復に期待
- ・下水処理場でのエネルギー消費量削減



色落ちしたノリ(右)